

令和2年度

市民意識調査報告書

札幌市
SAPPORO

令和2年度市民意識調査

■第1回市民意識調査

- 1 動物園の必要性と役割について
- 2 自然と生物多様性について
- 3 札幌市のアイヌ施策について
- 4 札幌の農業について

■第2回市民意識調査

- 1 受動喫煙の防止について
- 2 災害への備えについて
- 3 シティプロモートの推進について
- 4 テレビ・ラジオ等の利用状況について

■第3回市民意識調査

- 1 郷土意識について
- 2 札幌市の施策・事業について
- 3 映像の力を使ったまちづくりについて
- 4 市政広報について
- 5 救急安心センターさっぽろ・かかりつけ医・在宅医療等について

■第4回市民意識調査

- 1 雪対策に関する取り組みについて
- 2 野外教育事業について
- 3 札幌市役所の仕事の取り組み方に対する評価について
- 4 インターネットの利用状況について

目 次

■ 第1回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的-----	5
(2) 項目-----	5
(3) 設計-----	5
(4) 回収結果-----	5
(5) 回答者の属性-----	5
(6) 集計・分析上の注意事項-----	6

2 調査結果の詳細

(1) 動物園の必要性と役割について

円山動物園に行く頻度-----	9
円山動物園に行かない理由-----	10
円山動物園が必要か否か-----	11
円山動物園が必要だと思ふ理由-----	12
円山動物園が必要ないと思ふ理由-----	13
動物園が生物多様性の保全活動を行っていることの認知度-----	14
円山動物園が行う生物多様性の保全活動の取り組み-----	15
円山動物園が行う生物多様性の保全活動にどのように参加や支援をしたいか-----	16
円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要か否か-----	17
円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要だと思ふ理由-----	18
円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要ないと思ふ理由-----	19
円山動物園がどのような動物園であってほしいか-----	20

(2) 自然と生物多様性について

自然に関する興味-----	21
「生物多様性」の認知度-----	22
「生物多様性」を知ったきっかけ-----	23
「生物多様性」の保全につながる行動で行っているもの-----	24
「生物多様性」の保全につながる行動で課題があると感ずるもの-----	25
「生物多様性」の保全につながる行動のうちやってみたいもの-----	26

(3) 札幌市のアイヌ施策について

アイヌ民族の認知度-----	27
アイヌ民族について知っていること-----	28
アイヌ文化について知っていること-----	29
札幌市アイヌ文化交流センターの認知度-----	30
札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加したいと思ふもの-----	31
アイヌ民族施策のうち重点的に取り組むべきもの-----	32
アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきもの-----	33

(4) 札幌の農業について	
札幌の農業について知っていること-----	34
農業に関わるとしたらどのように関わりたいか-----	35
札幌産農産物の購入状況及び購入意欲-----	36
北海道産農産物の購入状況及び購入意欲-----	37
札幌産農産物に期待すること-----	38
札幌の農業や農地に期待する機能や役割-----	39
札幌の農業や農産物などの情報をどのような媒体から得たいか-----	40
資料：令和2年度第1回市民意識調査票-----	43

■ 第2回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的	59
(2) 項目	59
(3) 設計	59
(4) 回収結果	59
(5) 回答者の属性	59
(6) 集計・分析上の注意事項	60

2 調査結果の詳細

(1) 受動喫煙の防止について

健康増進法改正の認知度	63
健康増進法の改正内容の認知度	64
健康増進法の改正を認知した方法	65
喫煙の有無	66
過去1年間で喫煙をやめたいと思ったことがあるか否か	67
過去1年間で喫煙をやめたいと思った理由	68
たばこの煙を不快だと思うか否か	69
健康増進法改正前の受動喫煙にさらされる機会	70
健康増進法改正後の受動喫煙にさらされる機会	71
受動喫煙の機会が増えたと感じる場所	72
受動喫煙の機会が減ったと感じる場所	73
「さっぽろ受動喫煙防止宣言」の中で重要だと思う取り組み	74

(2) 災害への備えについて

家庭で行っている災害対策	75
防災訓練や防災講演会への参加の有無	76
防災訓練や防災講演会参加後の行動	77
防災訓練や防災講演会参加後に新たに行った備え	78
防災訓練や防災講演会参加後に行動をしなかった理由	79
今後の防災訓練や防災講演会への参加意向	80
防災訓練や防災講演会に参加しようと思う理由	81
防災訓練や防災講演会に参加しようと思わない理由	82
防災に関するハザードマップやパンフレットで読んだことがあるもの	83
防災全般に関して興味・関心のある情報	84

(3) シティプロモートの推進について	
サッポロスマイルロゴを見たことの有無-----	85
サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所-----	86
サッポロスマイルロゴに込められた意味の認知度-----	87
札幌のどのようなところに魅力を感じるか-----	88
札幌の魅力を知人や友人などに伝えたり、広めたりしたいと思うか否か-----	89
札幌の魅力を知人や友人などに伝えたり、広めたりする手段-----	90
札幌の魅力を知人や友人などに伝えたり、広めたりする上で必要なこと-----	91
札幌の魅力を知人や友人などに伝えたり、広めたりしたいと思わない理由-----	92
札幌以外の街を訪れる際の最新情報の入手手段-----	93
(4) テレビ・ラジオ等の利用状況について	
テレビの視聴頻度-----	94
ラジオの視聴頻度-----	95
テレビやラジオを視聴する時間帯-----	96
札幌市の広報番組視聴の有無-----	97
視聴したことがある広報番組-----	98
広報番組を視聴したときの状況-----	99
広報番組を視聴しない理由-----	100
どのような情報に関心があるか-----	101
関心がある情報の入手手段-----	102
SNSの利用状況-----	103
SNSの利用場面-----	104
SNSで札幌市のどのような情報を知りたいか-----	105
資料：令和2年度第2回市民意識調査票-----	111

■ 第3回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的	129
(2) 項目	129
(3) 設計	129
(4) 回収結果	129
(5) 回答者の属性	129
(6) 集計・分析上の注意事項	130

2 調査結果の詳細

(1) 郷土意識について

札幌の街の愛着度	133
札幌の街が好きな理由	134
現在住んでいる地域の定住意向度	135
定住を望む理由	136
定住を望まない理由	137

(2) 札幌市の施策・事業について

ア 住宅・まちづくりに関すること	138
イ 公共交通の便利さを進める事業	138
ウ 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	139
エ ごみや資源回収のこと	139
オ 環境保全（公害）に関すること	140
カ 河川・湖沼などの整備に関すること	140
キ 地震・火災・水害などの防災対策	141
ク 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること	141
ケ 交通安全対策に関すること	142
コ 道路の整備・維持管理に関すること	142
サ 除雪に関すること	143
シ 公園や緑地など「みどり」の事業	143
ス 子どもの教育に関する事業	144
セ 生涯学習などに関する事業	144
ソ 文化芸術の振興に関する事業	145
タ スポーツ・レクリエーションの事業	145
チ 健康づくり、医療、衛生の事業	146
ツ 母子及び父子・児童福祉に関すること	146
テ 高齢者福祉に関すること	147
ト 障がい者福祉に関すること	147
ナ 国際化推進に関すること	148

ニ	市民への情報提供や相談に関する事業-----	148
ヌ	市の取り組みに対する総合的な満足度-----	149
	市政に対する評価　〔よくやっていると思うもの〕　順位表-----	150
	市政に対する評価　〔力を入れてほしいもの〕　順位表-----	151
	市政に対する評価　〔プロット図〕-----	152
(3)	映像の力を使ったまちづくりについて	
	フィルムコミッションの言葉の認知度-----	153
	札幌市によるフィルムコミッションの取組支援の認知度-----	154
	フィルムコミッションのロゴを見たことの有無-----	155
	フィルムコミッションのロゴを見た場所や方法-----	156
	撮影を見かけたときの撮影への興味の有無-----	157
	撮影を見かけたときに迷惑と感じるか否か-----	158
	撮影を見かけたときに積極的に協力したいか否か-----	159
	映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことがあるか否か-----	160
	購入商品やサービスをどのような媒体で見かけたか-----	161
(4)	市政広報について	
	「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無-----	162
	「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知方法-----	163
	「データ放送」でお知らせ情報を利用したことがない理由-----	164
	「スマホアプリ（i さっぽろ）」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無-----	165
	「スマホアプリ（i さっぽろ）」によるお知らせ情報配信の認知方法-----	166
	「スマホアプリ（i さっぽろ）」でお知らせ情報を利用したことがない理由-----	167
	「広報さっぽろ」を読んでいる割合-----	168
	「広報さっぽろ」を読んでいる理由-----	169
	「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマ-----	170
	「広報さっぽろ」で読んでみたい特集記事の内容-----	171

(5) 救急安心センターさっぽろ・かかりつけ医・在宅医療等について	
救急安心センターさっぽろ（＃7119）の認知度	172
救急安心センターさっぽろ（＃7119）利用時の相談対象者	173
救急安心センターさっぽろ（＃7119）のサービス内容の認知度	174
救急安心センターさっぽろ（＃7119）の認知方法	175
かかりつけ医の有無	176
かかりつけ医を決めるときに重視する点	177
かかりつけ医を持っていない理由	178
かかりつけ歯科医の有無	179
健康診断等を受けているか否か	180
健康診断等を受けない理由	181
医療機関への入院と在宅医療の選択	182
余命宣告された場合の療養場所	183
人生の最期の療養場所を選択する際に重視する点	184
希望する最期の迎え方を家族等に伝えたことの有無	185

3 調査実施の概要

(1) 郷土意識に係る時系列調査	
札幌の街に対する愛着度の年度別一覧表	189
札幌の街に対する定住意向の年度別一覧表	189
(2) 市の施策・事業に係る時系列調査	
市政に対する評価の年度別順位一覧表	190
市政に関する要望の年度別順位一覧表	191
市政に対する評価の区別順位一覧表	192
市政に関する要望の区別順位一覧表	193

資料：令和2年度第3回市民意識調査票	197
--------------------	-----

■ 第4回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的	217
(2) 項目	217
(3) 設計	217
(4) 回収結果	217
(5) 回答者の属性	217
(6) 集計・分析上の注意事項	218

2 調査結果の詳細

(1) 雪対策に関する取り組みについて

札幌市の除排雪作業の認知度	221
札幌市の排雪作業範囲の認知度	222
札幌市の除雪作業時間の認知度	223
札幌市の除雪作業は「かき分け除雪」であることの認知度	224
除雪車が間口に雪を置いていくことの認知度	225
除雪車が間口に寄せた雪の処理は各家庭で行うことの認知度	226
敷地内から道路へ雪出しをしないことの認知度	227
敷地内から道路へ雪出しをしないことを実践しているか否か	228
路上駐車しないことの認知度	229
路上駐車しないことを実践しているか否か	230
ごみは収集日当日の朝、8時30分までに出すことの認知度	231
ごみは収集日当日の朝、8時30分までに出すことを実践しているか否か	232
民間企業などによる有料除排雪サービスの利用有無	233
利用した有料除排雪サービスの内容	234
「札幌市冬のみちづくりプラン2018」の認知度	235

(2) 野外教育事業について

自然体験活動が子どもの心身の成長にとって重要か否か	236
子どもの自然体験活動の機会	237
子どもの自然体験活動の機会が十分か否か	238
子どもの自然体験活動の機会が十分だと思う理由	239
札幌林間学校のどのようなところに魅力を感じるか	240
行政が実施する野外教育事業で重要だと思うこと	241

(3) 札幌市役所の仕事の取り組み方に対する評価について	
市役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価-----	242
市役所や区役所での手続き経験の有無-----	243
行ったことがある手続き-----	244
手続きの待ち時間に対する印象-----	245
手続きのわかりやすさに対する印象-----	246
改善を望む手続きの内容-----	247
市役所の仕事の取り組み方に対する評価	
ア 窓口や電話で親切な対応を行っている-----	248
イ 必要な業務（サービス）を実施している-----	249
ウ 事務や事業の効率化、見直しを進めている-----	250
エ 市政情報を積極的に発信している-----	251
(4) インターネットの利用状況について	
インターネット利用の有無-----	252
インターネットの利用頻度-----	253
インターネット利用の手段-----	254
資料：令和2年度第4回市民意識調査票-----	257

■ 参考資料

本調査結果利用上の注意

- (1) Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- (2) 各回答の百分率はNを基数として算出し、小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
また、個々の選択肢比率を合算する場合（「良い」と「やや良い」の合計など）は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。
このため、本文やグラフ上の比率を単純合計したものにならない場合がある。
- (3) 1人の対象者に2つ以上の複数回答を認めた場合は、回答者総数を基数としているので比率の合計は100.0%を超えることがある。

※ この調査結果の概要は札幌市ホームページに掲載されています。

(http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/citi_eng/)

令和2年度 第1回市民意識調査 報告書

調査期間:令和2年6月26日(金)～7月10日(金)

テーマ

- 1 動物園の必要性と役割について
- 2 自然と生物多様性について
- 3 札幌市のアイヌ施策について
- 4 札幌の農業について

札幌市

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和49年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和2年度第1回調査では、「動物園の必要性和役割」「自然と生物多様性」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 動物園の必要性和役割について
- ② 自然と生物多様性について
- ③ 札幌市のアイヌ施策について
- ④ 札幌の農業について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満18歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和2年(2020年)6月26日(金)～7月10日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数(率) 2,933 (58.7%)

(5) 回答者の属性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,933	100.0	1,150	39.2	1,758	59.9	25	0.9	2,933	100.0
【性別】										
男性	1,150	39.2	1,150	100.0	-	-	-	-	1,150	100.0
女性	1,758	59.9	-	-	1,758	100.0	-	-	1,758	100.0
無回答	25	0.9	-	-	-	-	25	100.0	25	100.0
【年齢】										
29歳以下	262	8.9	114	43.5	148	56.5	-	-	262	100.0
30～39歳	321	10.9	114	35.5	207	64.5	-	-	321	100.0
40～49歳	482	16.4	185	38.4	296	61.4	1	0.2	482	100.0
50～59歳	519	17.7	189	36.4	330	63.6	-	-	519	100.0
60～69歳	560	19.1	227	40.5	332	59.3	1	0.2	560	100.0
70歳以上	771	26.3	319	41.4	445	57.7	7	0.9	771	100.0
無回答	18	0.6	2	11.1	-	-	16	88.9	18	100.0
【居住区】										
中央区	348	11.9	137	39.4	211	60.6	-	-	348	100.0
北区	408	13.9	167	40.9	239	58.6	2	0.5	408	100.0
東区	367	12.5	141	38.4	225	61.3	1	0.3	367	100.0
白石区	296	10.1	117	39.5	177	59.8	2	0.7	296	100.0
厚別区	203	6.9	79	38.9	122	60.1	2	1.0	203	100.0
豊平区	342	11.7	132	38.6	209	61.1	1	0.3	342	100.0
清田区	178	6.1	71	39.9	107	60.1	-	-	178	100.0
南区	211	7.2	90	42.7	121	57.3	-	-	211	100.0
西区	345	11.8	131	38.0	214	62.0	-	-	345	100.0
手稲区	215	7.3	81	37.7	133	61.9	1	0.5	215	100.0
無回答	20	0.7	4	20.0	-	-	16	80.0	20	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,933	100.0	1,150	39.2	1,758	59.9	25	0.9	2,933	100.0
【職業】										
会社役員	76	2.6	54	71.1	22	28.9	-	-	76	100.0
会社員	780	26.6	421	54.0	359	46.0	-	-	780	100.0
公務員	122	4.2	84	68.9	38	31.1	-	-	122	100.0
自営業	134	4.6	78	58.2	55	41.0	1	0.7	134	100.0
パート・アルバイト	403	13.7	69	17.1	334	82.9	-	-	403	100.0
主婦・主夫	614	20.9	4	0.7	606	98.7	4	0.7	614	100.0
学生	85	2.9	45	52.9	40	47.1	-	-	85	100.0
無職	588	20.0	341	58.0	246	41.8	1	0.2	588	100.0
その他	100	3.4	49	49.0	50	50.0	1	1.0	100	100.0
無回答	31	1.1	5	16.1	8	25.8	18	58.1	31	100.0
【世帯構成】										
自分1人または友人と同居など単身世帯	525	17.9	202	38.5	322	61.3	1	0.2	525	100.0
夫婦2人だけの一世帯世帯	943	32.2	398	42.2	540	57.3	5	0.5	943	100.0
親と子の二世帯世帯	1,174	40.0	452	38.5	722	61.5	-	-	1,174	100.0
親と子と孫の三世帯世帯	131	4.5	50	38.2	81	61.8	-	-	131	100.0
その他	129	4.4	45	34.9	83	64.3	1	0.8	129	100.0
無回答	31	1.1	3	9.7	10	32.3	18	58.1	31	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

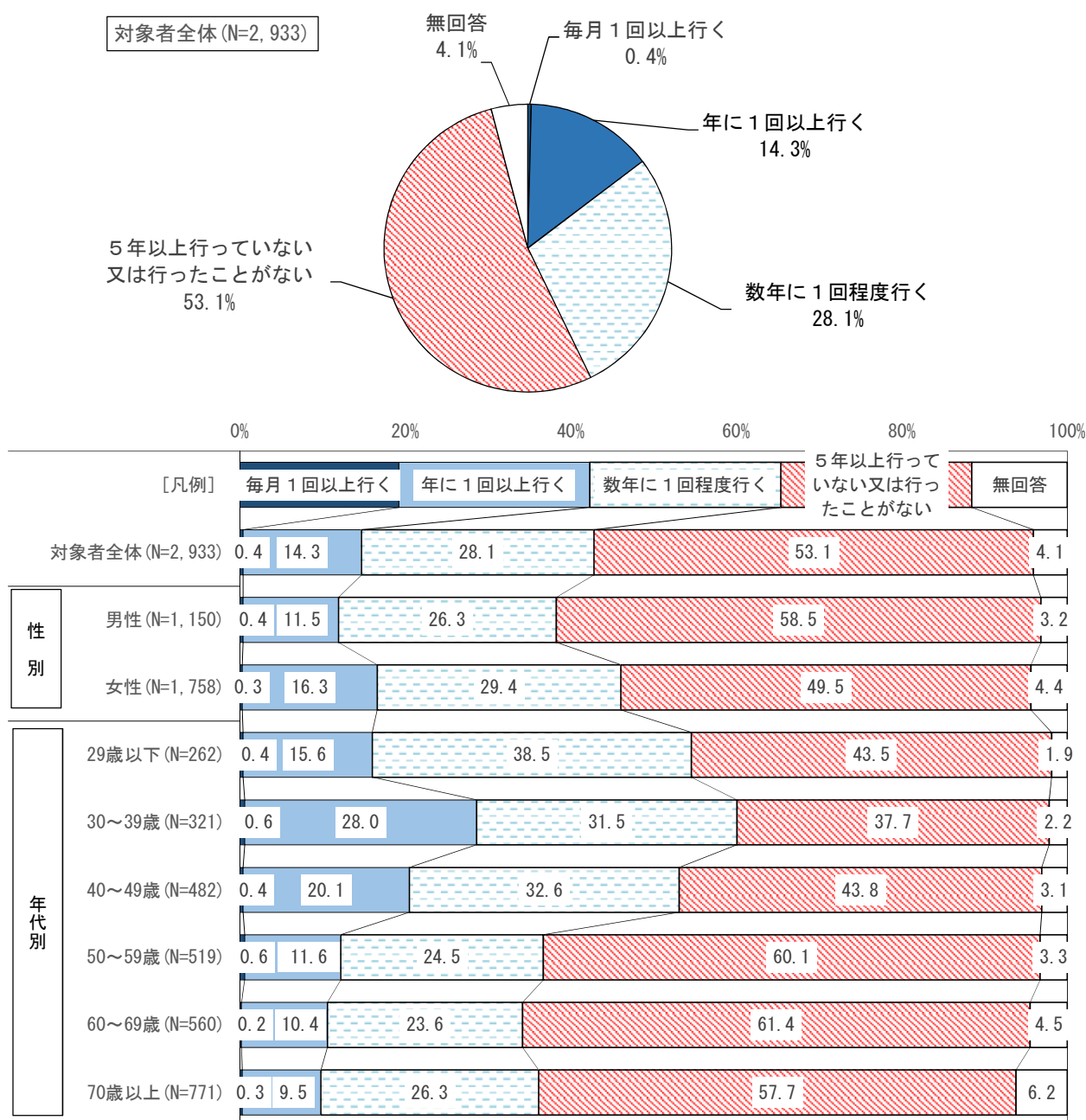
(1) 動物園の必要性と役割について

◇円山動物園に行く頻度

問1 あなたは、どのくらいの頻度で円山動物園に行きますか。もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

“過去5年以内に円山動物園に行ったことがある”人は42.8%

※ “過去5年以内に円山動物園に行ったことがある”(「毎月1回以上行く」+「年に1回以上行く」+「数年に1回程度行く」)



【全体】円山動物園に行く頻度は、「毎月1回以上行く」が0.4%、「年に1回以上行く」が14.3%、「数年に1回程度行く」が28.1%、「5年以上行ってない又は行ったことがない」が53.1%となっている。

【性別】“過去5年以内に円山動物園に行ったことがある”人は、女性で46.0%と、男性の38.3%より7.7ポイント高くなっている。

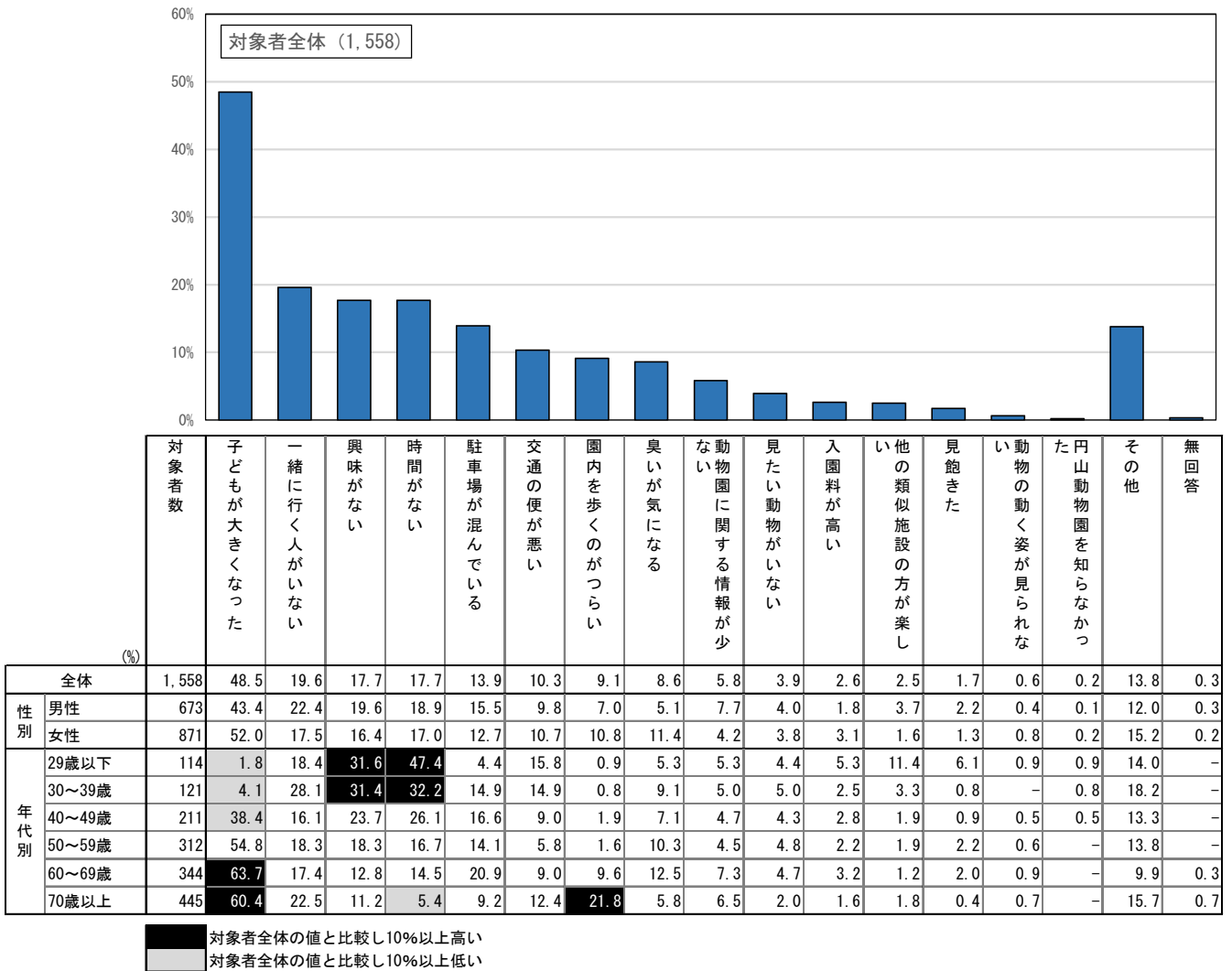
【年代別】“過去5年以内に円山動物園に行ったことがある”人は、30歳代(60.1%)で最も高く、次いで29歳以下(54.6%)、40歳代(53.1%)となっている。

◇円山動物園に行かない理由

《問1で「4～5年以上行っていない又は行ったことがない」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたが、円山動物園に行かない理由は何ですか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

円山動物園に行かない理由は「子どもが大きくなった」が48.5%



【全体】円山動物園に行かない理由は、「子どもが大きくなった」が48.5%、「一緒に行く人がいない」が19.6%、「興味がない」、「時間がない」がそれぞれ17.7%となっている。

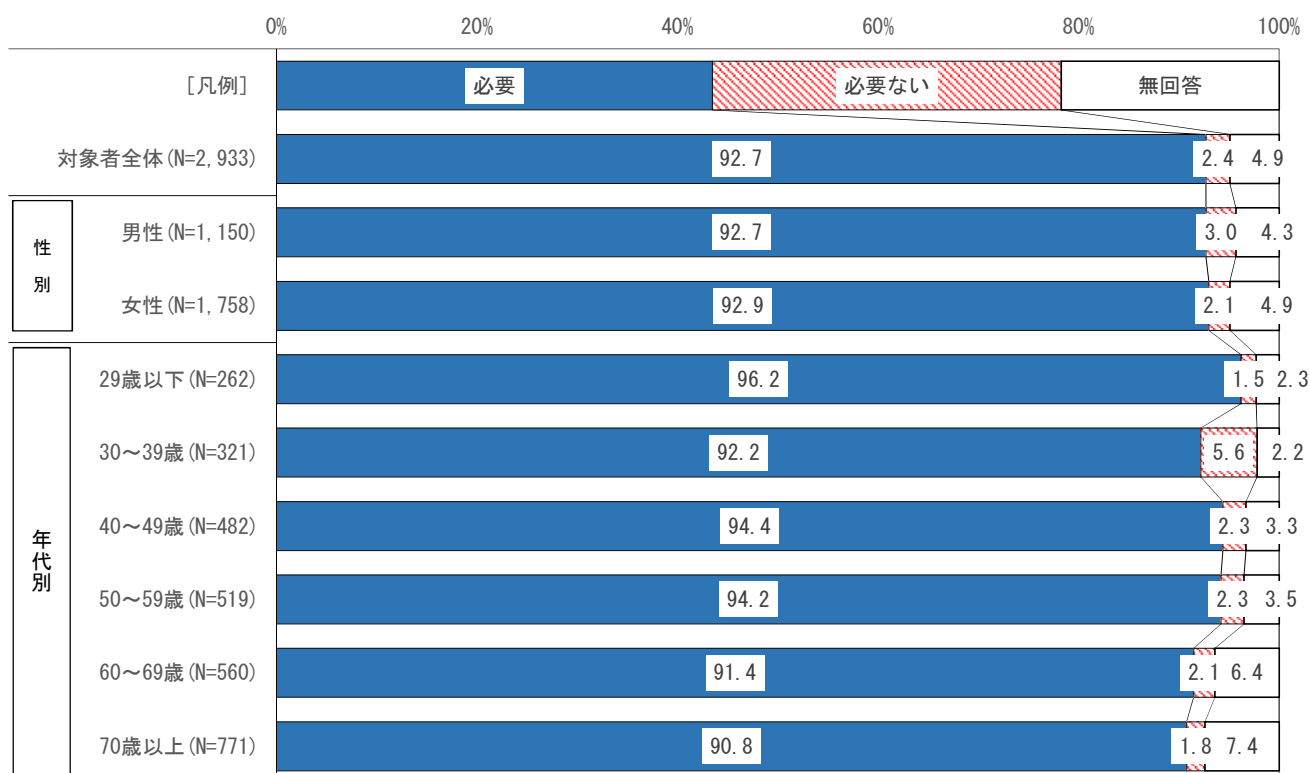
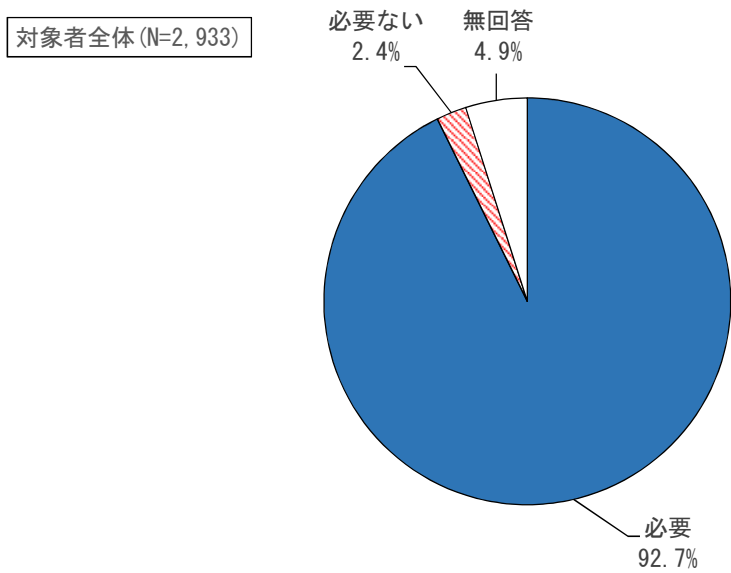
【性別】「子どもが大きくなった」、「臭いが気になる」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「興味がない」、「時間がない」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「園内を歩くのがつらい」は、70歳以上(21.8%)で最も高く、最も低い30歳代(0.8%)とは、21.0ポイントの差となっている。

◇円山動物園が必要か否か

問2 あなたは、札幌の街にとって、円山動物園は必要だと思いますか。

札幌の街にとって円山動物園が「必要」と答えた人は92.7%



【全体】札幌の街にとって円山動物園が必要か否かについて、「必要」が92.7%、「必要ない」が2.4%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

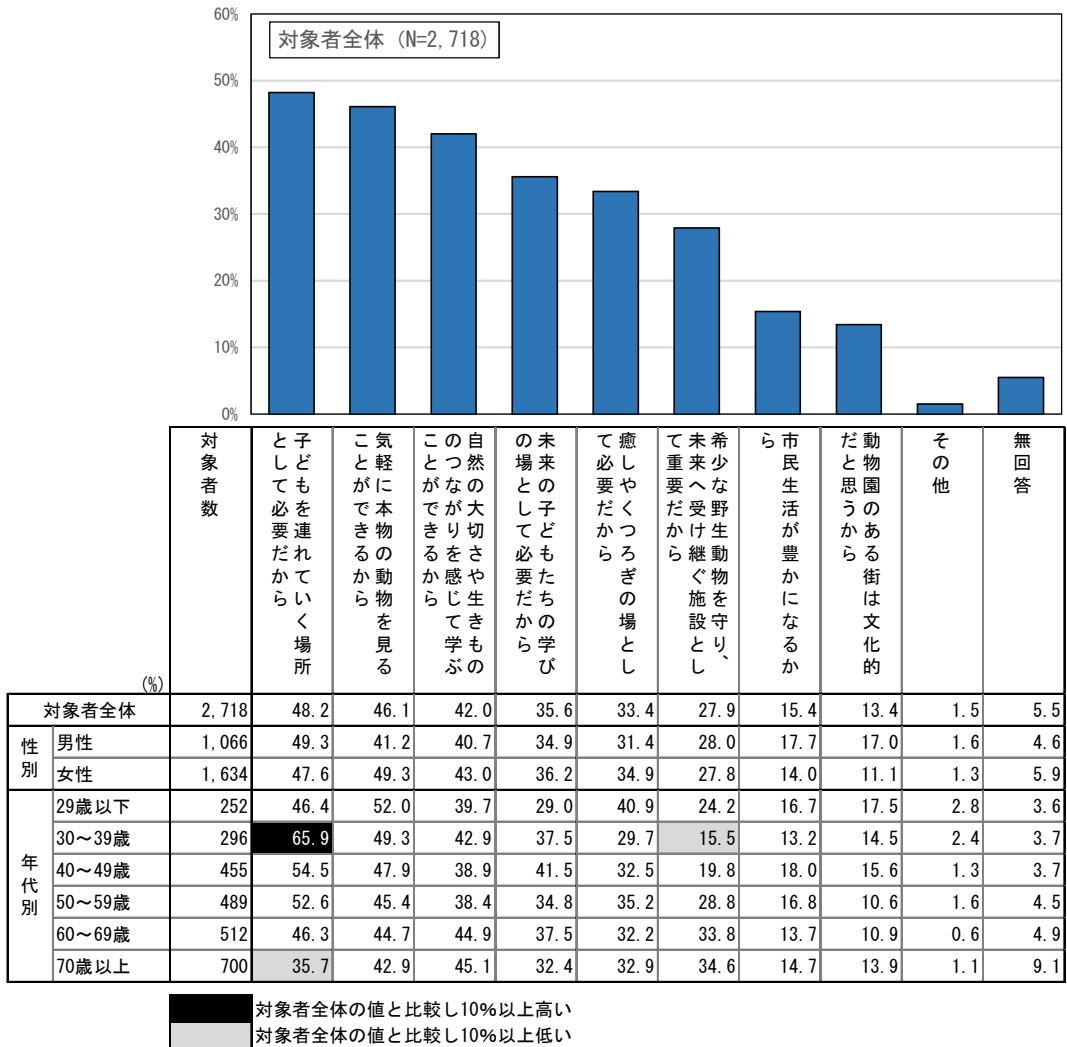
【年代別】「必要」は、29歳以下(96.2%)で最も高く、最も低い70歳以上(90.8%)とは、5.4ポイントの差となっている。

◇円山動物園が必要だと思う理由

《問2で「1 必要」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 必要だと思う理由は何ですか。優先順位が高いものに3つまで○をつけてください。

円山動物園が必要だと思う理由は「子どもを連れていく場所として必要だから」が48.2%



【全体】円山動物園が必要だと思う理由は、「子どもを連れていく場所として必要だから」が48.2%、「気軽に本物の動物を見ることができるから」が46.1%、「自然の大切さや生きものつながりを感じて学ぶことができるから」が42.0%となっている。

【性別】「気軽に本物の動物を見ることができるから」は、女性で49.3%と、男性の41.2%より8.1ポイント高くなっている。また、「動物園のある街は文化的だと思うから」は、男性で17.0%と、女性の11.1%より5.9ポイント高くなっている。

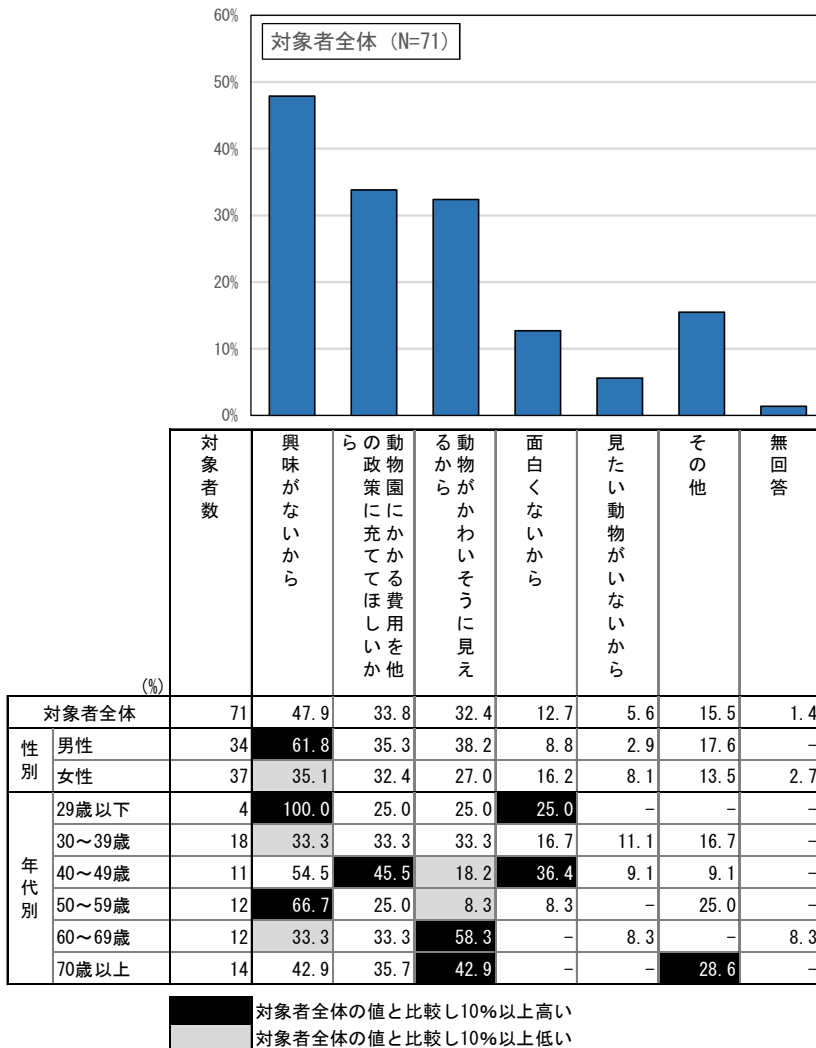
【年代別】「子どもを連れていく場所として必要だから」は、30歳代(65.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(35.7%)とは、30.2ポイントの差となっている。また、「気軽に本物の動物を見ることができるから」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇円山動物園が必要ないと思う理由

《問2で「1 必要ない」と答えた方にお聞きします。》

問2-2 必要ないと思う理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

円山動物園が必要ないと思う理由は「興味がないから」が47.9%



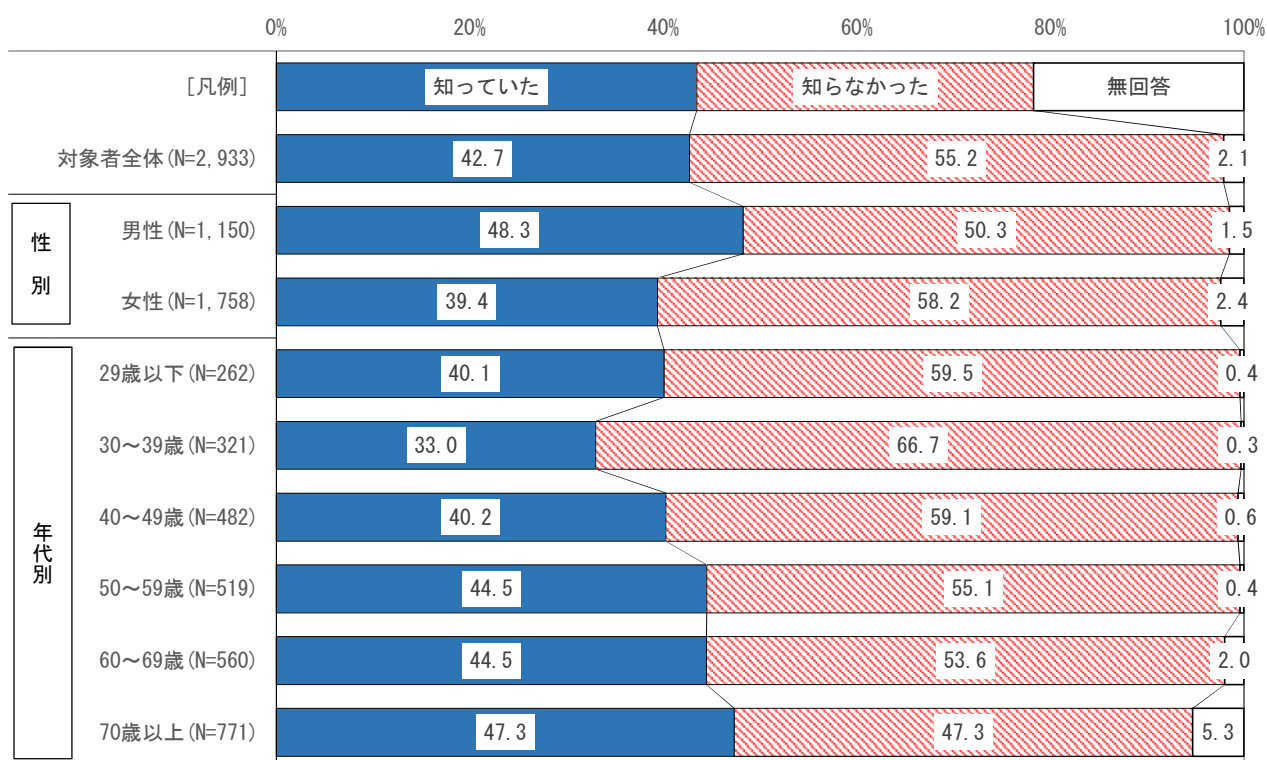
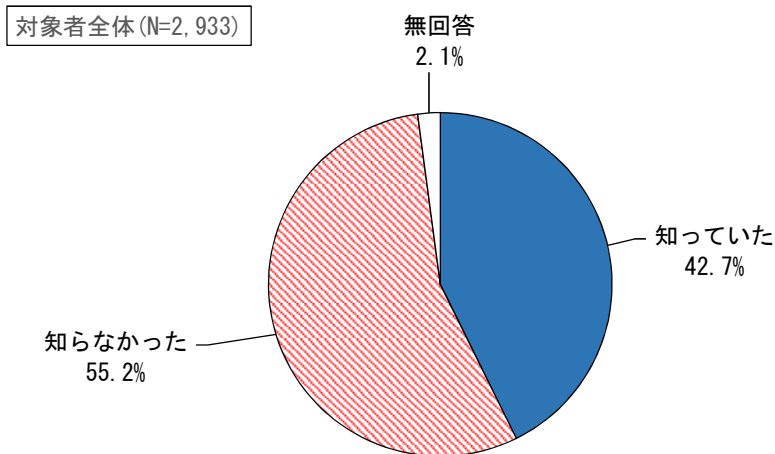
【全体】円山動物園が必要ないと思う理由は、「興味がないから」が47.9%、「動物園にかかる費用を他の政策に充ててほしいから」が33.8%、「動物がかわいそうに見えるから」が32.4%となっている。

【性別】「興味がないから」、「動物がかわいそうに見えるから」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「面白くないから」、「見たい動物がないから」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

◇動物園が生物多様性の保全活動を行っていることの認知度

問3 あなたは、動物園が生物多様性の保全に貢献するための活動を行っていることを知っていましたか。

動物園が生物多様性の保全活動を行っていることを「知っていた」人は42.7%



【全体】動物園が生物多様性の保全活動を行っていることについて、「知っていた」が42.7%、「知らなかった」が55.2%となっている。

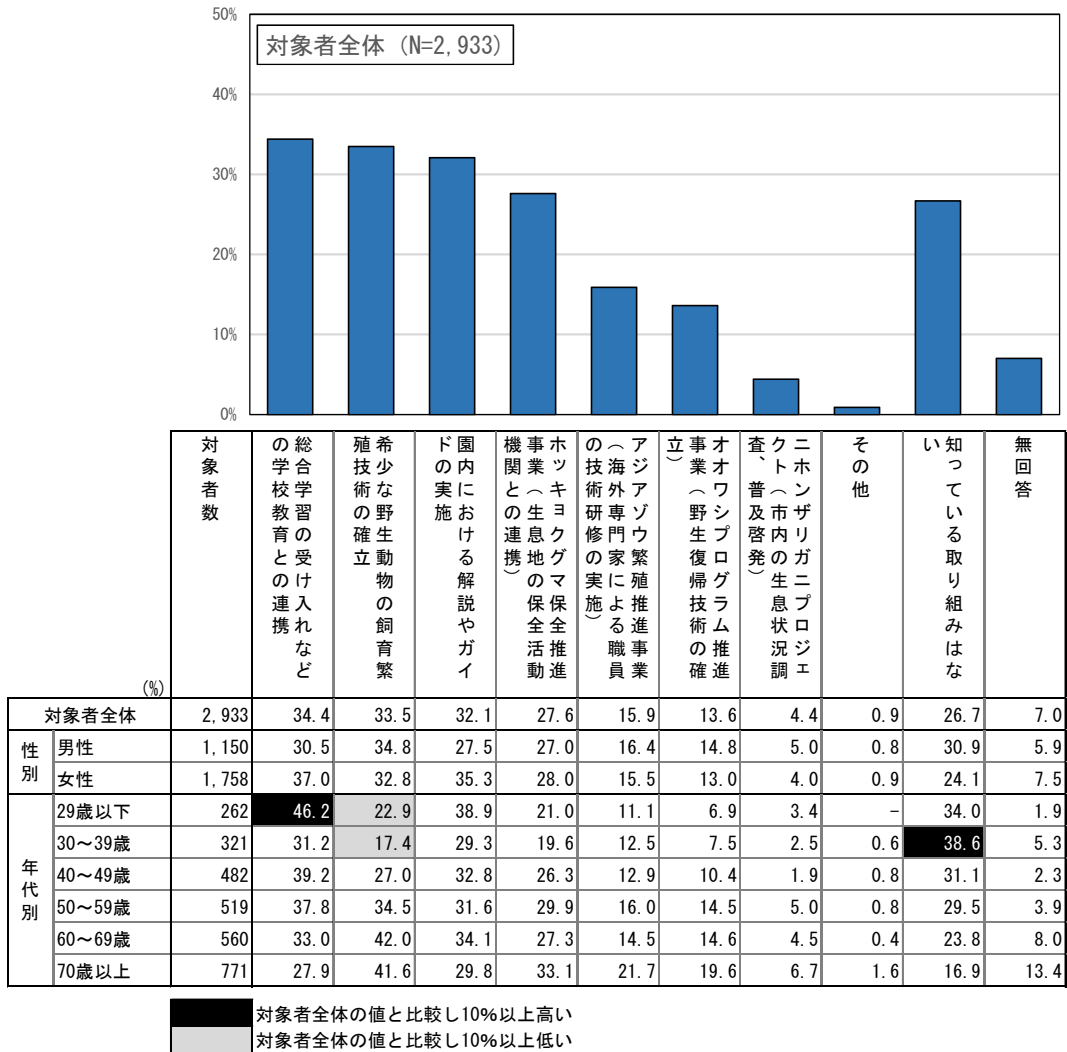
【性別】「知っていた」は、男性で48.3%と、女性の39.4%より8.9ポイント高くなっている。

【年代別】「知っていた」は、70歳以上(47.3%)で最も高く、最も低い30歳代(33.0%)とは、14.3ポイントの差となっている。

◇円山動物園が行う生物多様性の保全活動の取り組み

問4 円山動物園が行っている生物多様性の保全活動には以下のような取り組みがありますが、あなたが知っているものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

円山動物園が行う生物多様性の保全活動の取り組みで知っているものは「総合学習の受け入れなどの学校教育との連携」が 34.4%



【全体】 円山動物園が行っている生物多様性の保全活動で知っているものは、「総合学習の受け入れなどの学校教育との連携」が 34.4%、「希少な野生動物の飼育繁殖技術の確立」が 33.5%、「園内における解説やガイドの実施」が 32.1%となっている。

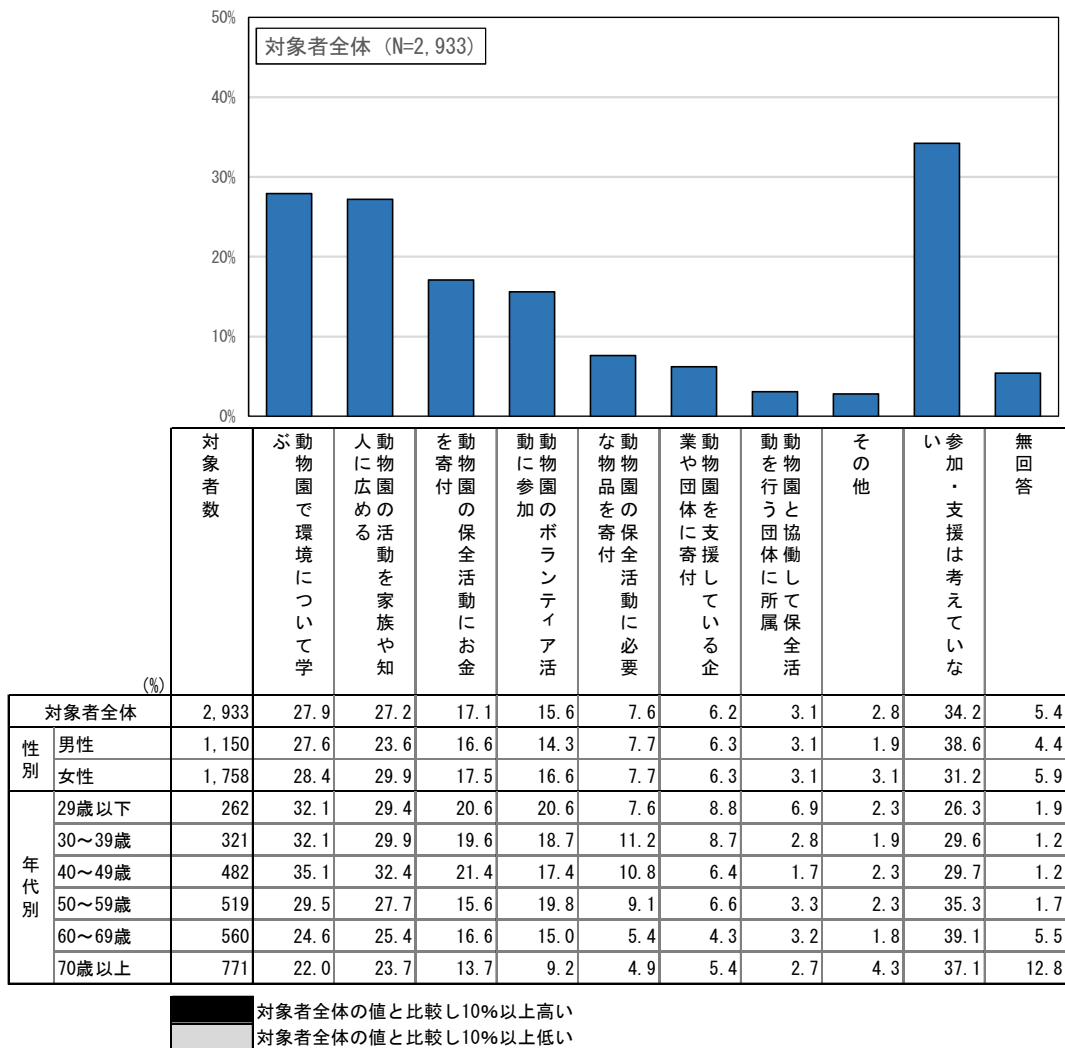
【性別】 「総合学習の受け入れなどの学校教育との連携」、「園内における解説やガイドの実施」は、女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「希少な野生動物の飼育繁殖技術の確立」は、60 歳代(42.0%)で最も高く、最も低い 30 歳代(17.4%)とは 24.6 ポイントの差となっている。また、59 歳以下では「総合学習の受け入れなどの学校教育との連携」が、60 歳以上では「希少な野生動物の飼育繁殖技術の確立」が最も高くなっている。

◇円山動物園が行う生物多様性の保全活動にどのように参加や支援をしたいか

問5 あなたは、円山動物園が行う生物多様性の保全活動について、どのような方法であれば参加又は支援したいと思いますか。あてはまるものにくっつでも○をつけてください。

生物多様性の保全活動にどのような方法であれば参加又は支援したいかは「動物園で環境について学ぶ」が 27.9%



【全体】円山動物園が行う生物多様性の保全活動に、どのような方法であれば参加又は支援したいかは、「動物園で環境について学ぶ」が 27.9%、「動物園の活動を家族や知人に広める」が 27.2%、「動物園の保全活動にお金を寄付」が 17.1%となっている。

【性別】「動物園の活動を家族や知人に広める」は、女性で 29.9%と、男性の 23.6%より 6.3 ポイント高くなっている。

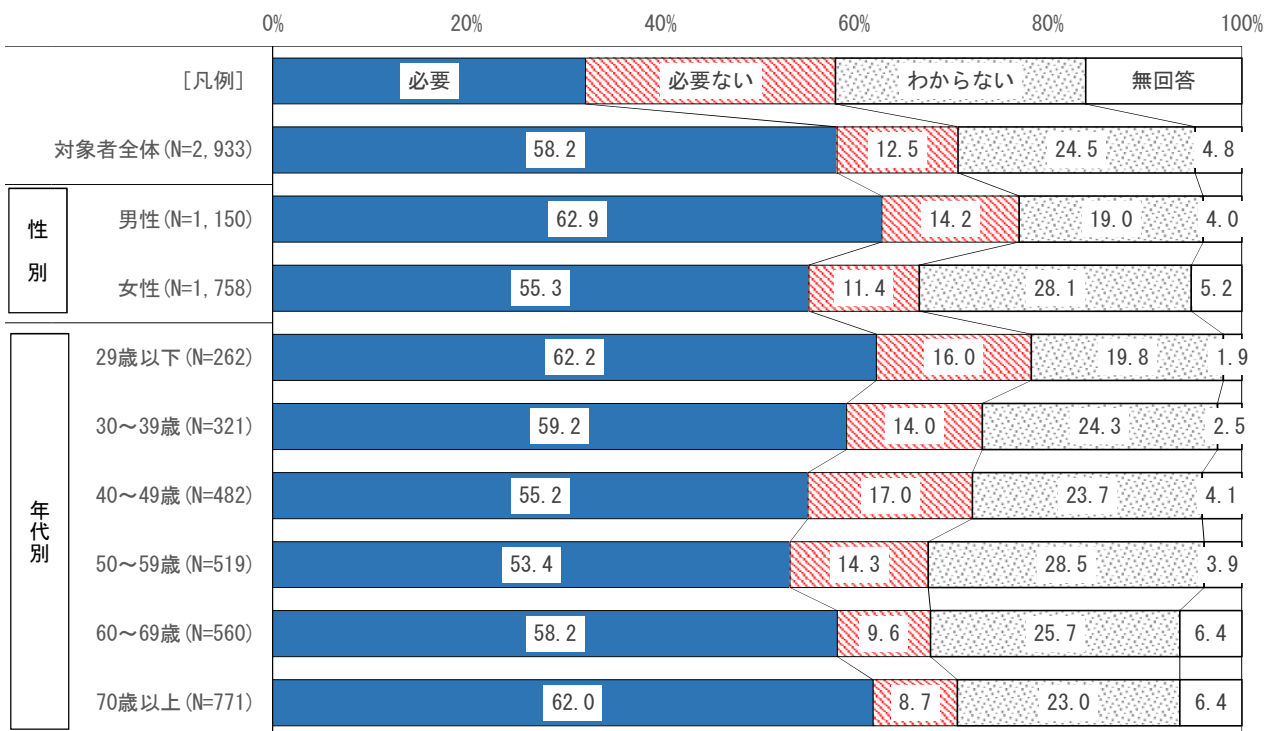
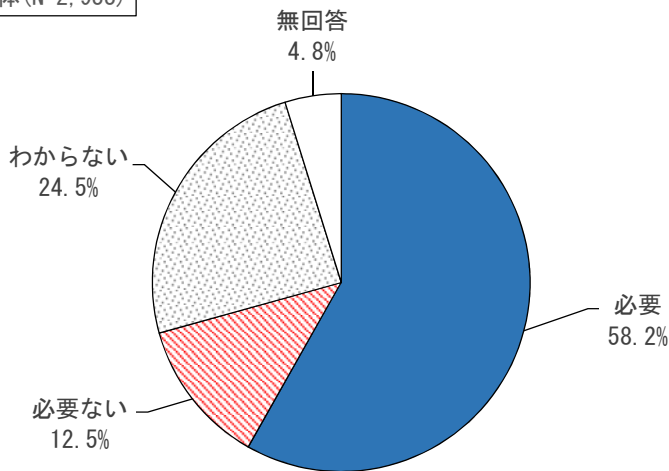
【年代別】「動物園で環境について学ぶ」は、40 歳代 (35.1%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (22.0%) とは 13.1 ポイントの差となっている。また、59 歳以下では「動物園で環境について学ぶ」が、60 歳以上では「動物園の活動を家族や知人に広める」が最も高くなっている。

◇円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要か否か

問6 あなたは、円山動物園に北海道の動物だけでなく、世界や日本各地の希少な動物の展示が必要だと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示を「必要」と答えた人は 58.2%

対象者全体 (N=2,933)



【全体】円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示について、「必要」が 58.2%、「必要ない」が 12.5%、「わからない」が 24.5%となっている。

【性別】「必要」は、男性で 62.9%と、女性の 55.3%より 7.6 ポイント高くなっている。

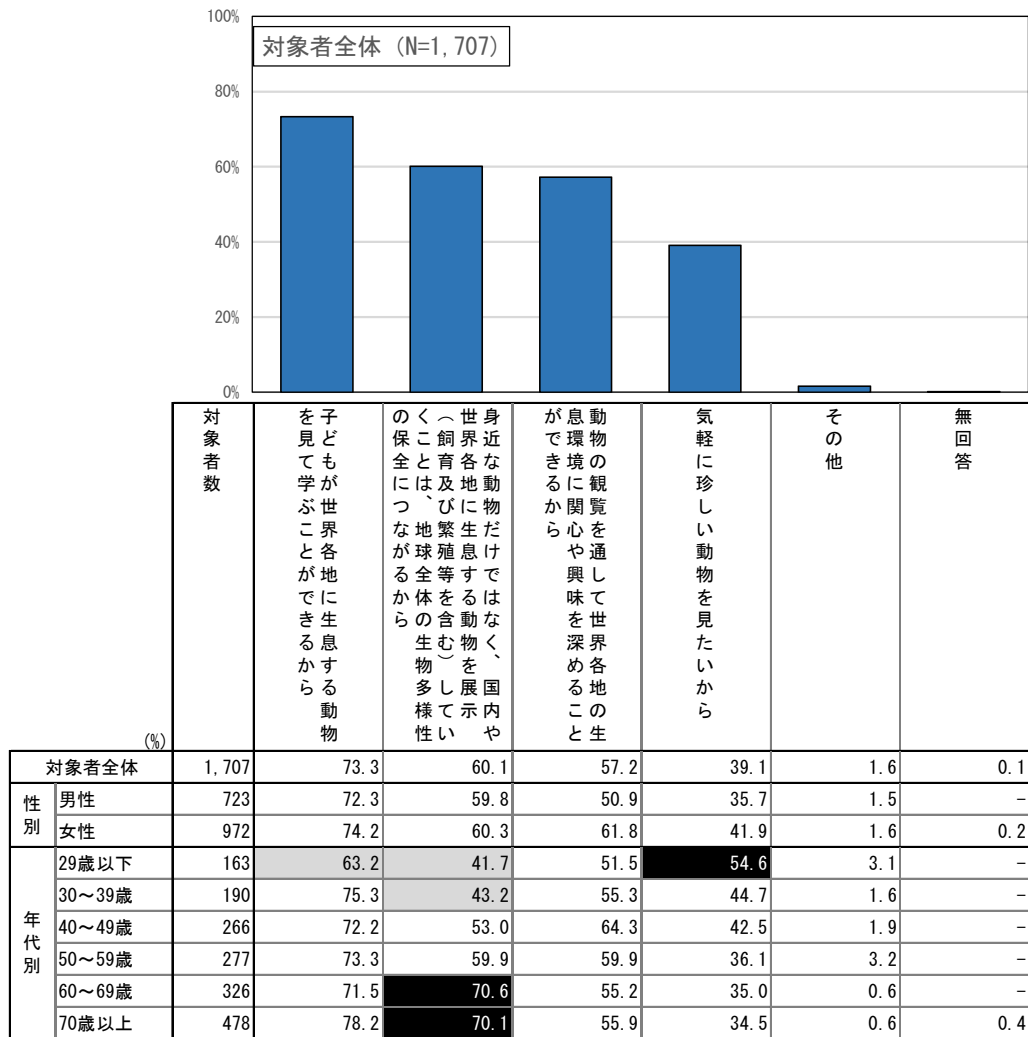
【年代別】「必要」は、29 歳以下(62.2%)で最も高く、最も低い 50 歳代(53.4%)とは 8.8 ポイントの差となっている。

◇円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要だと思う理由

《問6で「1 必要」と答えた方にお聞きします。》

問6-1 必要だと思う理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要だと思う理由は「子どもが世界各地に生息する動物を見て学ぶことができるから」が73.3%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要だと思う理由は、「子どもが世界各地に生息する動物を見て学ぶことができるから」が73.3%、「地球全体の生物多様性の保全につながるから」が60.1%、「動物の観覧を通して世界各地の生息環境に関心や興味を深めることができるから」が57.2%となっている。

【性別】「動物の観覧を通して世界各地の生息環境に関心や興味を深めることができるから」、「気軽に珍しい動物を見たいから」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

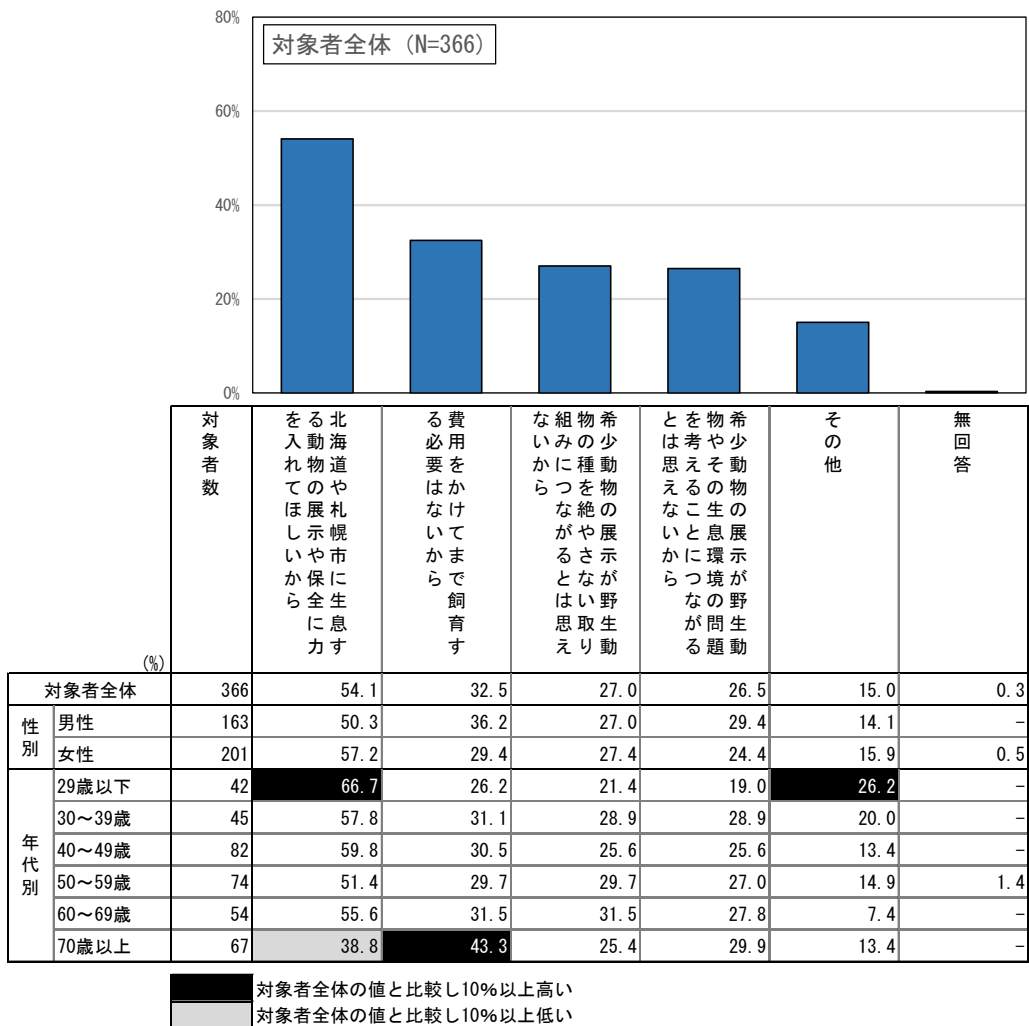
【年代別】「地球全体の生物多様性の保全につながるから」は、60歳代(70.6%)で最も高く、最も低い29歳以下(41.7%)とは28.9ポイントの差となっている。また、「気軽に珍しい動物を見たいから」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要ないと思う理由

《問6で「2 必要ない」と答えた方にお聞きします。》

問6-2 必要ないと思う理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要ないと思う理由は「北海道や札幌市に生息する動物の展示や保全に力を入れてほしいから」が54.1%



【全 体】 円山動物園に世界や日本各地の希少動物の展示が必要ないと思う理由は、「北海道や札幌市に生息する動物の展示や保全に力を入れてほしいから」が 54.1%、「費用をかけてまで飼育する必要はないから」が 32.5%、「希少動物の展示が野生動物の種を絶やさないと考えないから」が 27.0%となっている。

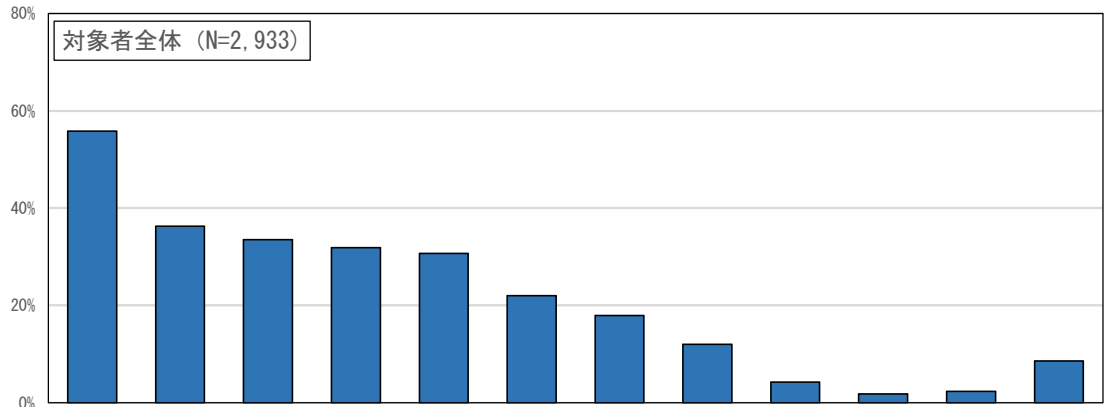
【性 別】 「北海道や札幌市に生息する動物の展示や保全に力を入れてほしいから」は、女性で 57.2%と、男性の 50.3%より 6.9 ポイント高くなっている。また、「費用をかけてまで飼育する必要はないから」、「希少動物の展示が野生動物やその生息環境の問題を考えると考えないから」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「北海道や札幌市に生息する動物の展示や保全に力を入れてほしいから」は、29 歳以下(66.7%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(38.8%)とは 27.9 ポイントの差となっている。

◇円山動物園がどのような動物園であってほしいか

問7 あなたは、円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。優先順位が高いものに3つまで○をつけてください。

円山動物園は「動物の飼育施設や展示施設の充実など、生き生きとした動物が見られる動物園」であってほしいと答えた人が55.8%



対象者数	見られる動物園	癒しやくつろぎのある動物園	学習プログラムや環境問題について楽しく学ぶことのできる動物園	子育てにおいて活用しやすい動物園	動物の触れ合いや近くで観察するための充実した動物園	世界の珍しい動物が見られる動物園	希少な動物の飼育繁殖などの保全活動や調査研究に力を入れる動物園	遊具、遊び場やイベントの充実など、レジャー性の高い動物園	観光客の多く訪れる動物園	その他	特になし	無回答
対象者全体 (2,933)	55.8	36.3	33.5	31.9	30.7	22.0	17.9	12.0	4.2	1.8	2.3	8.6
性別												
男性 (1,150)	52.3	35.3	31.8	31.2	29.0	26.7	20.1	13.4	4.8	1.7	2.4	8.3
女性 (1,758)	58.2	37.1	34.5	32.5	31.8	18.9	16.4	11.0	3.9	1.9	2.2	8.6
年代別												
29歳以下 (262)	50.4	38.9	29.4	32.1	37.8	24.0	17.2	25.2	7.6	1.9	0.4	6.5
30~39歳 (321)	48.3	28.3	35.5	43.9	31.2	19.3	18.7	22.4	3.1	1.6	1.9	7.2
40~49歳 (482)	60.8	35.9	38.8	36.9	33.6	16.4	17.8	13.9	1.9	2.3	1.7	5.4
50~59歳 (519)	59.3	38.7	34.3	33.7	30.8	18.3	17.7	10.0	3.3	1.7	2.1	7.3
60~69歳 (560)	58.6	37.0	34.8	31.4	29.1	19.1	19.3	6.1	4.3	2.1	2.0	11.1
70歳以上 (771)	53.4	37.2	29.2	22.8	27.4	30.5	16.9	7.4	5.6	1.6	4.0	10.6

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】円山動物園がどのような動物園であってほしいかは、「動物の飼育施設や展示施設の充実など、生き生きとした動物が見られる動物園」が55.8%、「休憩施設や便益施設の充実など、癒しやくつろぎのある動物園」が36.3%、「学習プログラムや環境問題について楽しく学ぶことのできる動物園」が33.5%となっている。

【性別】「動物の飼育施設や展示施設の充実など、生き生きとした動物が見られる動物園」は、女性で58.2%と、男性の52.3%より5.9ポイント高くなっている。また、「世界の珍しい動物が見られる動物園」は、男性で26.7%と、女性の18.9%より7.8ポイント高くなっている。

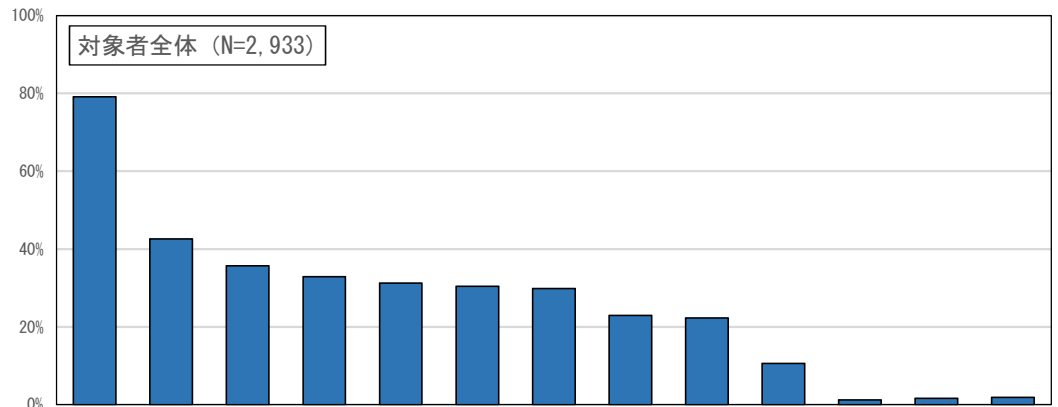
【年代別】「子育てにおいて活用しやすい動物園」は、30歳代(43.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(22.8%)とは21.1ポイントの差となっている。

(2)自然と生物多様性について

◇自然に関する興味

問8 あなたは、自然に関することについてどのようなことに興味がありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自然に関して「自然の風景や景色」に関心があると答えた人は79.1%



		対象者数	自然の風景や景色	大気汚染や水質汚染などの環境問題	動物やペット	植物	園芸・家庭菜園	登山・キャンプ・海水浴などの娯楽	山菜・きのこ・魚介類などの食料	自然保護活動	自然観察会・自然体験ツアーなどの体験活動	昆虫	その他	自然に興味がない	無回答
対象者全体		2,933	79.1	42.6	35.7	32.9	31.2	30.4	29.8	22.9	22.3	10.6	1.2	1.6	1.9
性別	男性	1,150	78.6	41.1	31.4	27.3	26.3	34.3	33.2	23.1	20.4	13.6	1.3	2.1	1.5
	女性	1,758	79.6	43.5	38.7	36.6	34.4	28.2	27.6	22.9	23.6	8.8	1.2	1.4	2.1
年代別	29歳以下	262	79.0	23.3	59.2	30.5	18.3	51.1	33.2	12.2	17.2	7.6	0.8	1.5	0.8
	30～39歳	321	77.3	29.0	52.0	31.5	28.7	51.4	30.2	18.4	19.0	11.5	0.9	3.4	0.9
	40～49歳	482	76.3	38.6	42.1	30.7	28.2	46.5	30.3	18.3	19.7	11.6	1.5	2.7	1.7
	50～59歳	519	79.2	44.1	37.0	32.2	28.1	27.4	28.5	22.0	23.3	14.1	1.3	1.5	1.7
	60～69歳	560	82.0	48.8	29.8	33.9	31.4	19.5	27.5	26.3	22.5	10.9	1.3	0.9	2.5
	70歳以上	771	80.2	51.9	20.6	35.5	40.5	15.2	30.9	29.8	26.3	8.0	1.3	0.9	2.5
問9 (生物多様性の意味を) 知っていた		865	83.7	53.2	38.5	38.7	31.9	32.4	35.3	32.3	26.4	16.0	2.3	0.9	0.2
問9 (生物多様性の意味を) 知らなかった		1,955	78.9	39.0	35.5	31.2	31.6	30.7	28.5	19.2	21.0	8.4	0.8	2.0	0.5

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】自然に関して興味があることは、「自然の風景や景色」が79.1%、「大気汚染や水質汚染などの環境問題」が42.6%、「動物やペット」が35.7%となっている。

【性別】「動物やペット」、「植物」、「園芸・家庭菜園」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「登山・キャンプ・海水浴などの娯楽」、「山菜・きのこ・魚介類などの食料」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

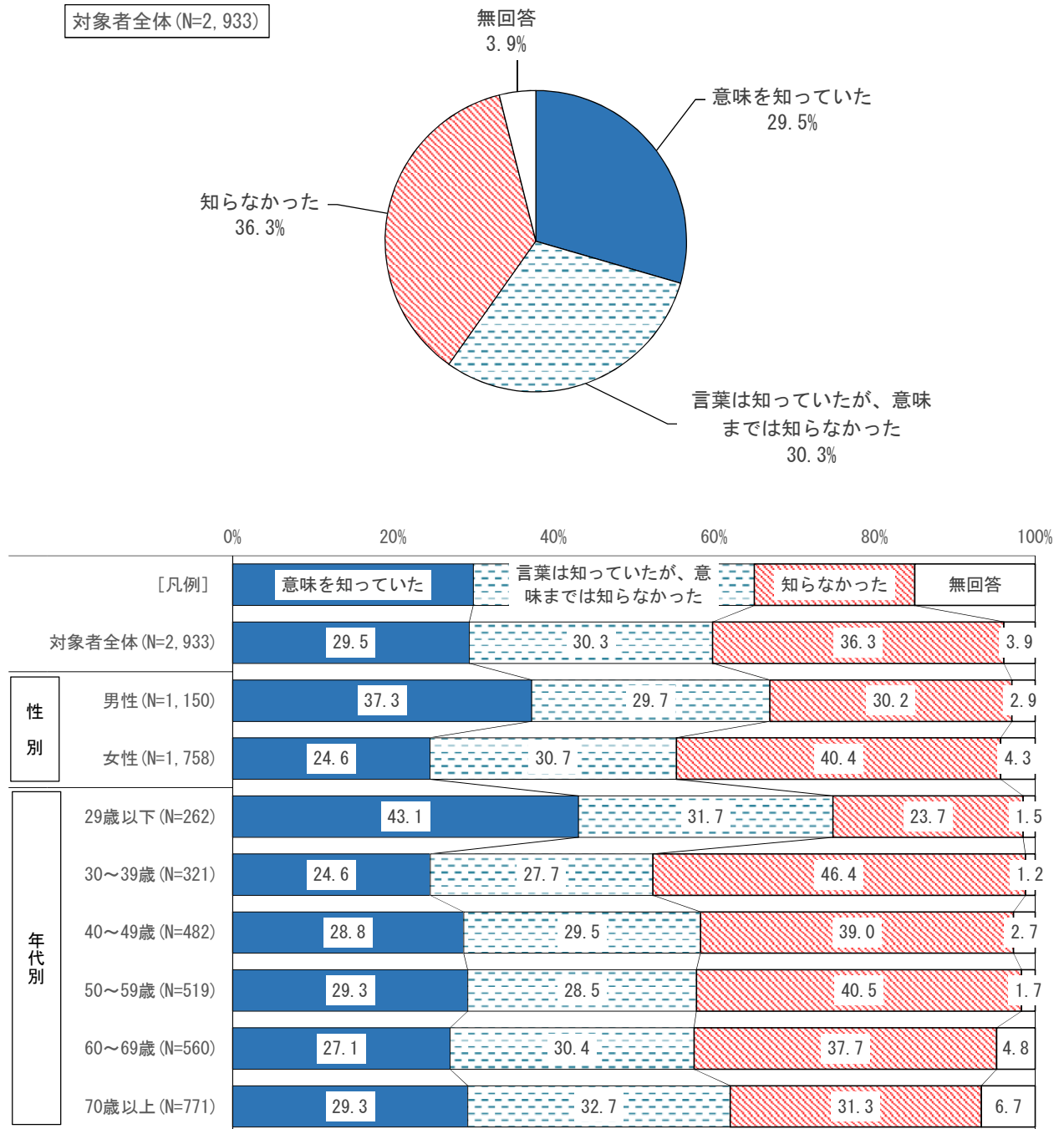
【年代別】「大気汚染や水質汚染などの環境問題」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「動物やペット」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

【問9回答別】「大気汚染や水質汚染などの環境問題」、「自然保護活動」は、生物多様性の言葉の意味を知っていた人が、言葉の意味を知らなかった人より10.0ポイント以上高くなっている。

◇「生物多様性」の認知度

問9 あなたは、「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「生物多様性」という言葉の意味を知っていた人は 29.5%



【全体】「生物多様性」という言葉について、「意味を知っていた」が 29.5%、「言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」が 30.3%、「知らなかった」が 36.3%となっている。

【性別】「意味を知っていた」は、男性で 37.3%と、女性の 24.6%より 12.7 ポイント高くなっている。

【年代別】「意味を知っていた」は、29 歳以下 (43.1%) で最も高く、最も低い 30 歳代 (24.6%) とは、18.5 ポイントの差となっている。

問9 生物多様性の意味を知っていた …… 「意味を知っていた」

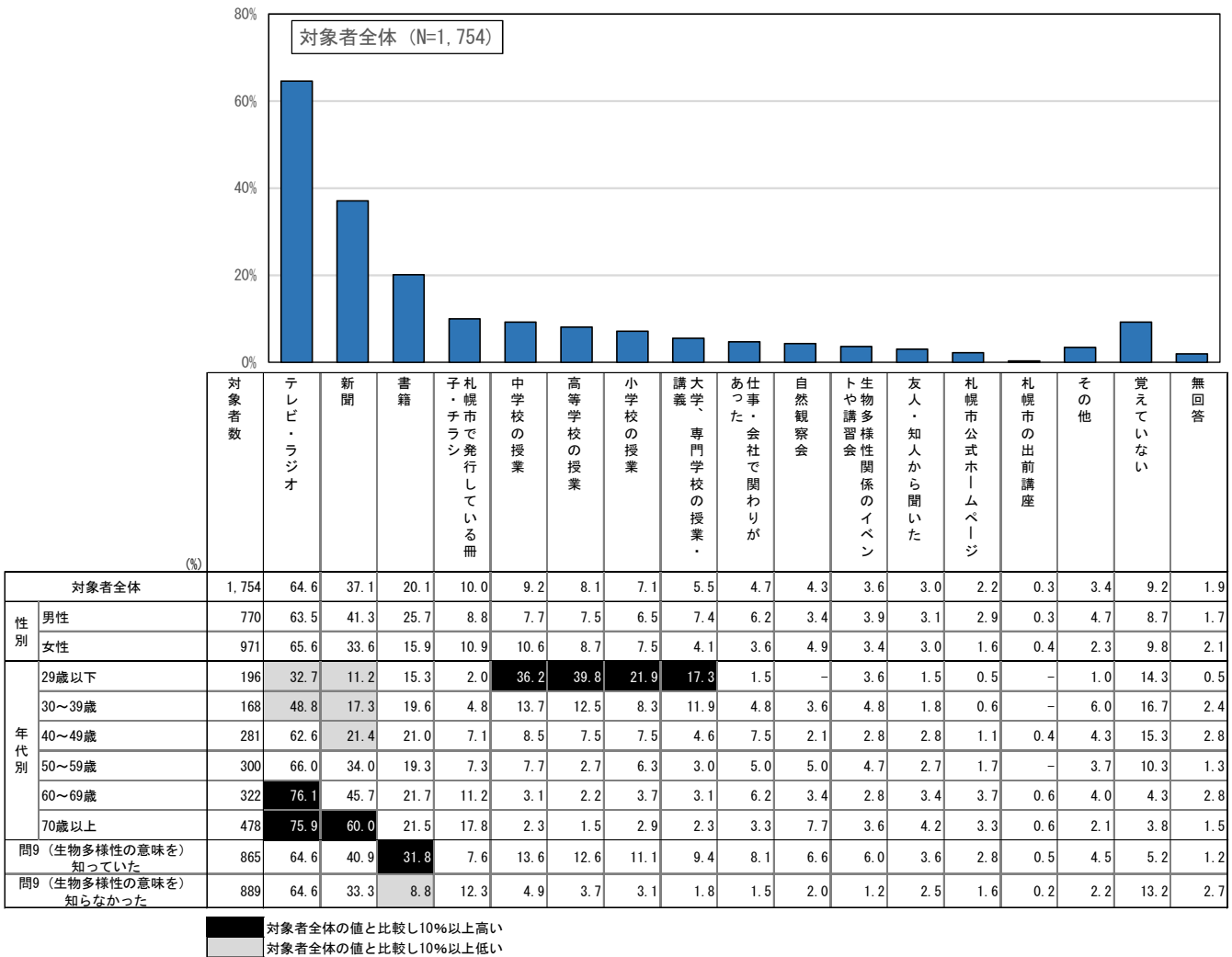
生物多様性の意味を知らなかった … 「言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」+「知らなかった」

◇「生物多様性」を知ったきっかけ

《問9で「1 意味を知っていた」または「2 言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」と答えた方にお聞きします。》

問9-1 あなたが「生物多様性」を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」を知ったきっかけは「テレビ・ラジオ」が 64.6%



【全体】「生物多様性」を知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が 64.6%、「新聞」が 37.1%、「書籍」が 20.1%となっている。

【性別】「新聞」、「書籍」は、男性が女性より 5.0 ポイント以上高くなっている。

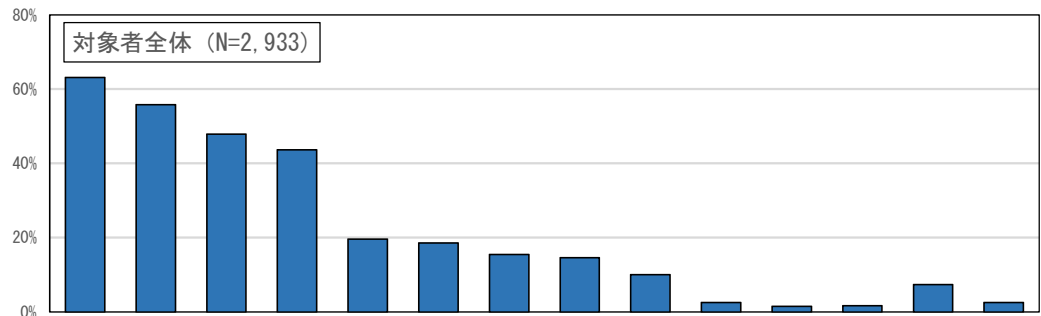
【年代別】「新聞」、「札幌市で発行している冊子・チラシ」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「中学校の授業」、「高等学校の授業」、「小学校の授業」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

【問9回答別】「書籍」は、生物多様性の言葉の意味を知っていた人で 31.8%と、言葉の意味を知らなかった人の 8.8%より 23.0 ポイント高くなっている。

◇「生物多様性」の保全につながる行動で行っているもの

問10 次の行動は、「生物多様性」の保全につながる行動ですが、あなたが実際に行っているものはありますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」の保全につながる行動で行っているものは「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」が63.1%



		対象者数	の節電や適切な冷暖房温度の設定をしている (%)	地元の食材を選んで購入している (%)	旬の食材を選んで購入している (%)	最後まで責任を持って育てている (%)	生き物を飼育するときは環境に配慮した商品を購入している (%)	外に出で積極的に自然の中で過ごしている (%)	自然や生き物について家族や友人と話をしている (%)	身近な生き物を観察している (%)	円山動物園の活動を応援している (%)	自然保護活動や美化活動に参加している (%)	自然観察会や講演会などに参加している (%)	その他の行動 (%)	上記の行動はしていない (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,933	63.1	55.8	47.9	43.7	19.6	18.6	15.5	14.6	10.0	2.5	1.5	1.7	7.4	2.5
性別	男性	1,150	55.0	46.3	37.8	36.3	15.2	20.2	11.3	15.0	7.5	2.5	1.0	1.8	11.6	2.4
	女性	1,758	68.7	62.2	54.5	48.4	22.4	17.6	18.4	14.3	11.6	2.4	1.8	1.6	4.7	2.3
年代別	29歳以下	262	59.2	33.6	28.2	42.4	11.1	18.7	14.5	13.7	8.4	1.1	1.1	0.4	12.2	1.5
	30~39歳	321	63.6	42.1	41.1	45.5	11.8	20.9	15.6	18.1	10.3	1.2	1.2	1.2	9.7	1.2
	40~49歳	482	62.0	60.4	47.7	52.3	16.6	17.0	18.7	16.0	10.6	1.2	1.0	1.7	7.1	0.4
	50~59歳	519	67.8	60.3	51.6	46.6	19.3	17.1	17.3	17.0	10.4	1.5	1.5	2.1	6.2	1.0
	60~69歳	560	65.4	60.7	52.9	42.1	23.8	17.3	12.7	11.8	9.3	2.9	1.1	1.6	6.3	2.7
	70歳以上	771	61.0	60.2	51.8	37.0	24.9	20.6	15.0	13.2	10.4	4.5	2.2	2.1	6.6	4.9
問9 (生物多様性の意味を知っていた)		865	67.6	59.8	49.4	47.2	27.9	24.5	23.5	21.7	13.1	5.2	3.4	3.0	5.0	1.2
問9 (生物多様性の意味を知らなかった)		1,955	61.5	54.2	47.4	42.3	16.0	16.3	11.9	11.6	8.7	1.2	0.7	1.0	8.5	2.3

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】「生物多様性」の保全につながる行動で行っているものは、「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」が63.1%、「地元の食材を選んで購入している」が55.8%、「旬の食材を選んで購入している」が47.9%となっている。

【性別】「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」、「地元の食材を選んで購入している」、「旬の食材を選んで購入している」、「生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てている」は、女性が男性より10.0ポイント以上高くなっている。

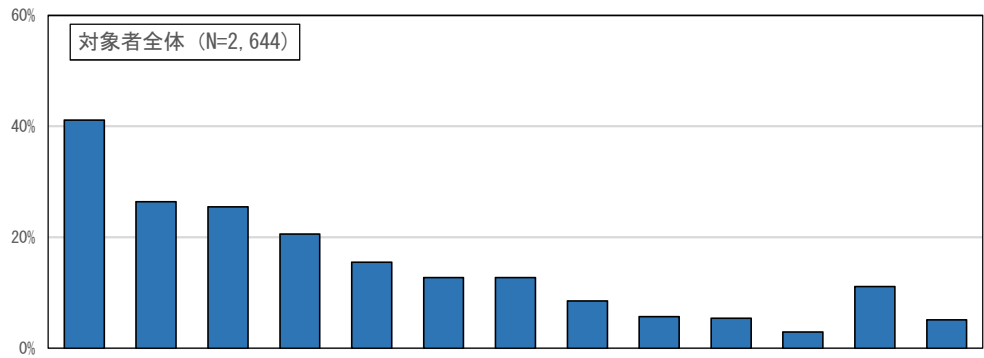
【年代別】「地元の食材を選んで購入している」は、60歳代(60.7%)で最も高く、最も低い29歳以下(33.6%)とは、27.1ポイントの差となっている。「環境に配慮した商品を購入している」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「生物多様性」の保全につながる行動で課題があると感じるもの

《問10で「1」から「12」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問10-1 あなたが「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは「行動の効果や成果が見えにくい」が41.1%



		対象者数	行動の効果や成果が見えにくい	周囲の関心が低い	今の行動のほかに何をしたらよいかわからない	今行っている行動が正しいかどうかかわからない	時間がない	お金がかかる	評価されることが少ない	一緒にやる人がいない	面倒である	活動を行う場所がない	その他	特になし	無回答
対象者全体		2,644	41.1	26.4	25.5	20.6	15.5	12.7	12.7	8.5	5.7	5.4	2.9	11.1	5.1
性別	男性	989	47.5	27.3	20.8	22.5	15.1	14.9	15.9	8.6	6.2	7.7	3.2	10.5	3.9
	女性	1,635	37.6	26.1	28.4	19.4	15.8	11.4	10.9	8.4	5.4	4.1	2.8	11.4	5.7
年代別	29歳以下	226	46.0	34.5	22.1	24.8	20.8	22.6	20.4	8.8	11.9	3.1	1.3	8.0	0.4
	30～39歳	286	46.9	29.0	28.7	24.5	18.2	19.6	14.3	8.7	7.7	7.7	2.1	9.1	1.0
	40～49歳	446	43.9	27.4	28.5	25.6	20.6	18.2	13.5	7.0	6.7	3.6	2.2	10.1	1.1
	50～59歳	482	43.2	24.9	28.8	19.9	18.9	11.6	10.2	8.5	5.4	5.2	3.9	11.4	1.0
	60～69歳	510	42.7	25.9	26.9	18.6	13.7	8.8	11.6	7.3	4.1	7.5	2.2	11.6	7.3
	70歳以上	682	33.1	23.6	19.9	16.4	8.1	6.5	11.9	10.4	3.5	5.1	4.1	13.0	12.3
問9 (生物多様性の意味を知っていた)		812	47.0	31.9	19.7	22.9	15.0	13.4	15.5	8.3	6.4	5.8	4.2	9.1	3.1
問9 (生物多様性の意味を知らなかった)		1,743	38.9	24.2	28.1	19.7	16.1	12.7	11.5	8.6	5.6	5.1	2.4	12.2	5.3

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは、「行動の効果や成果が見えにくい」が41.1%、「周囲の関心が低い」が26.4%、「今の行動のほかに何をしたらよいかわからない」が25.5%となっている。

【性別】「行動の効果や成果が見えにくい」、「評価されることが少ない」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「今の行動のほかに何をしたらよいかわからない」は、女性で28.4%と、男性の20.8%より7.6ポイント高くなっている。

【年代別】「行動の効果や成果が見えにくい」は、30歳代(46.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(33.1%)とは、13.8ポイントの差となっている。「お金がかかる」、「面倒である」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

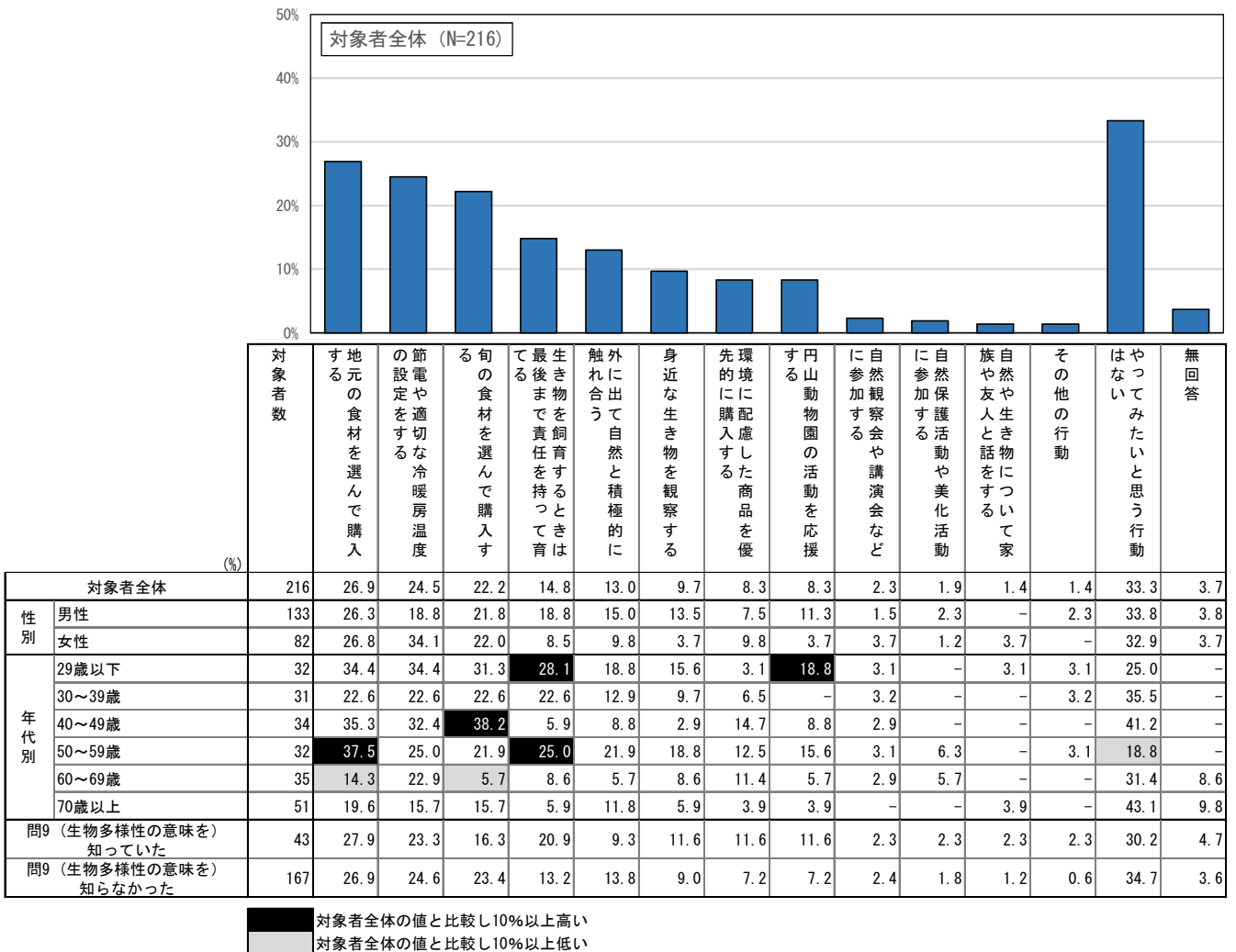
【問9回答別】「今の行動のほかに何をしたらよいかわからない」は、生物多様性の言葉の意味を知らなかった人で28.1%と、言葉の意味を知っていた人の19.7%より8.4ポイント高くなっている。

◇「生物多様性」の保全につながる行動のうちやってみたいもの

《問10で「13 上記の行動はしていない」と答えた方にお聞きします。》

問10-2 次の「生物多様性」の保全につながる行動のうち、今後やってみたいと思うものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」の保全につながる行動のうち、やってみたいと思うものは「地元の食材を選んで購入する」が26.9%



【全体】「生物多様性」の保全につながる行動のうち、今後やってみたいと思うものは、「地元の食材を選んで購入する」が26.9%、「節電や適切な冷暖房温度の設定をする」が24.5%、「旬の食材を選んで購入する」が22.2%となっている。

【性別】「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」は、女性で34.1%と、男性の18.8%より15.3ポイント高くなっている。また、「生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てる」、「外に出て自然と積極的に触れ合う」、「身近な生き物を観察する」、「円山動物園の活動を応援する」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

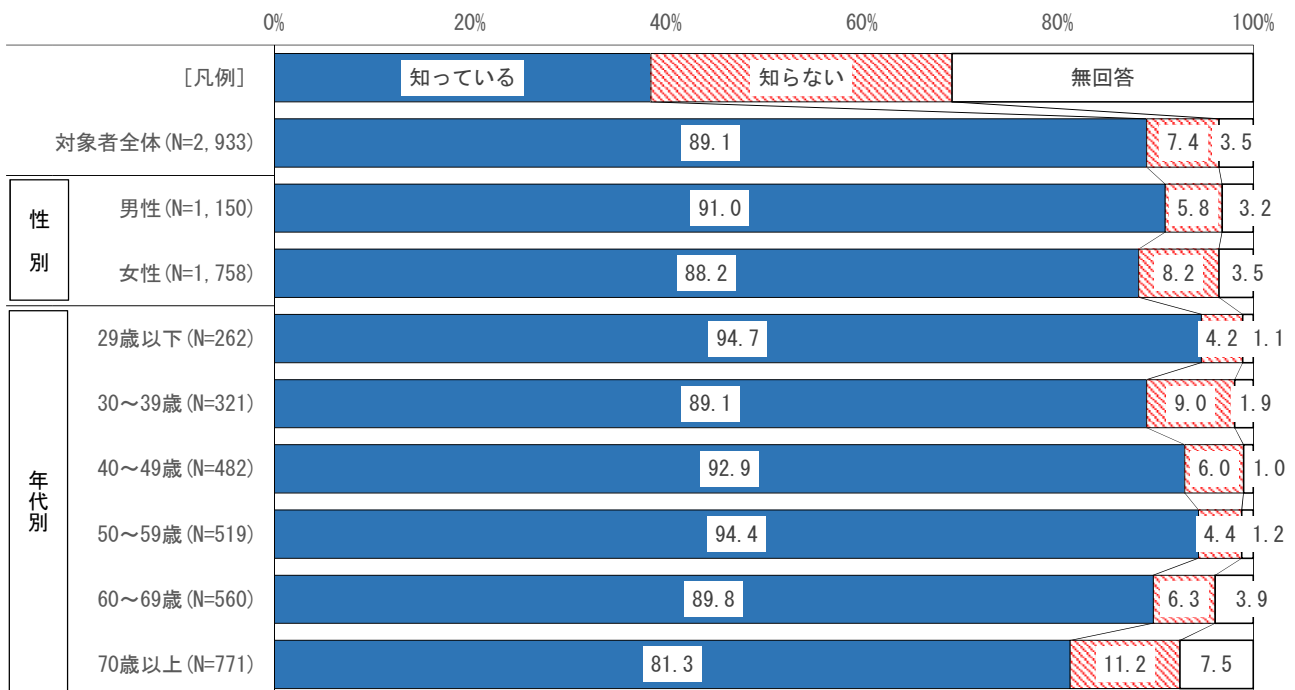
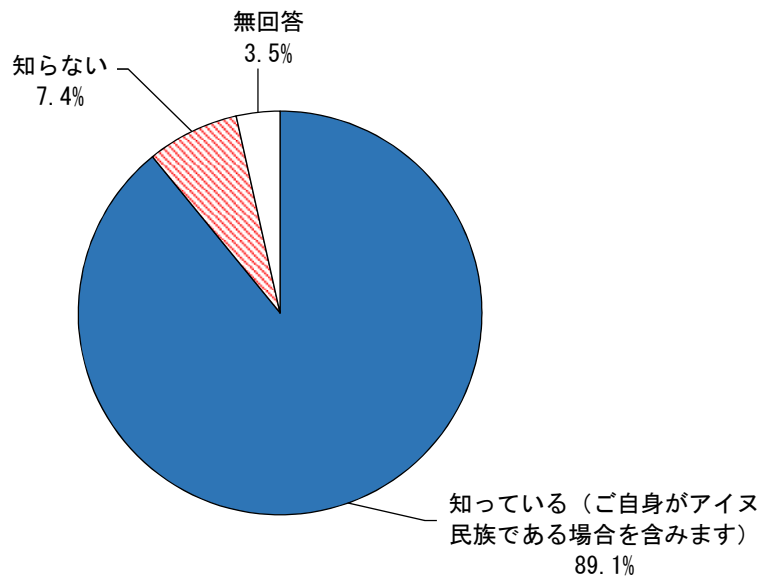
(3) 札幌市のアイヌ施策について

◇アイヌ民族の認知度

問 1 1 あなたは、アイヌ民族について知っていますか。

アイヌ民族について「知っている」人は 89.1%

対象者全体 (N=2, 933)



【全 体】 アイヌ民族について、「知っている」が 89.1%、「知らない」が 7.4%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

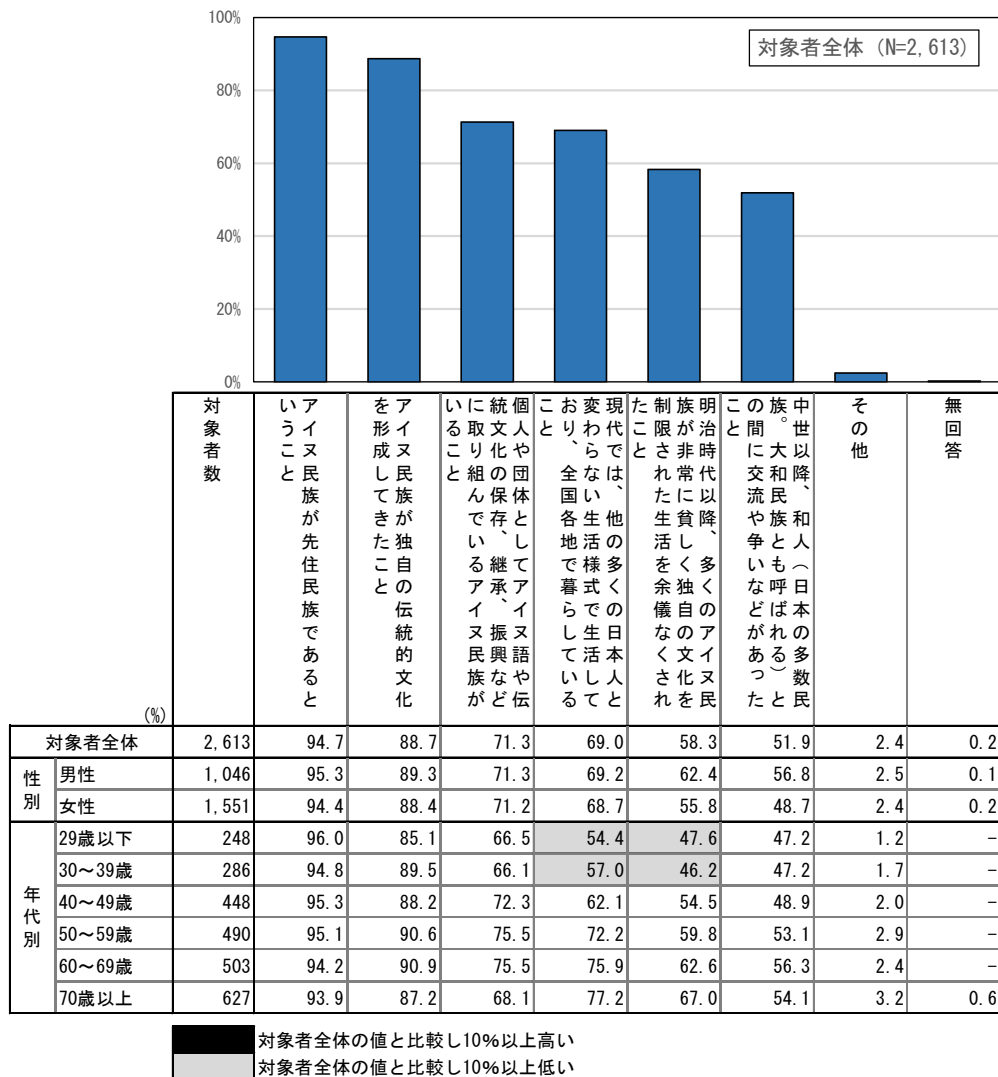
【年代別】 「知っている」は、29 歳以下 (94.7%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (81.3%) とは 13.4 ポイントの差となっている。

◇アイヌ民族について知っていること

《問11で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問11-1 あなたは、アイヌ民族についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

アイヌ民族について知っていることは「アイヌ民族が先住民族であるということ」が94.7%



【全体】 アイヌ民族について知っていることは、「アイヌ民族が先住民族であるということ」が94.7%、「アイヌ民族が独自の伝統的文化を形成してきたこと」が88.7%、「個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保存、継承、振興などに取り組んでいるアイヌ民族がいること」が71.3%となっている。

【性別】 「明治時代以降、多くのアイヌ民族が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと」、「中世以降、和人と間に交流や争いなどがあったこと」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

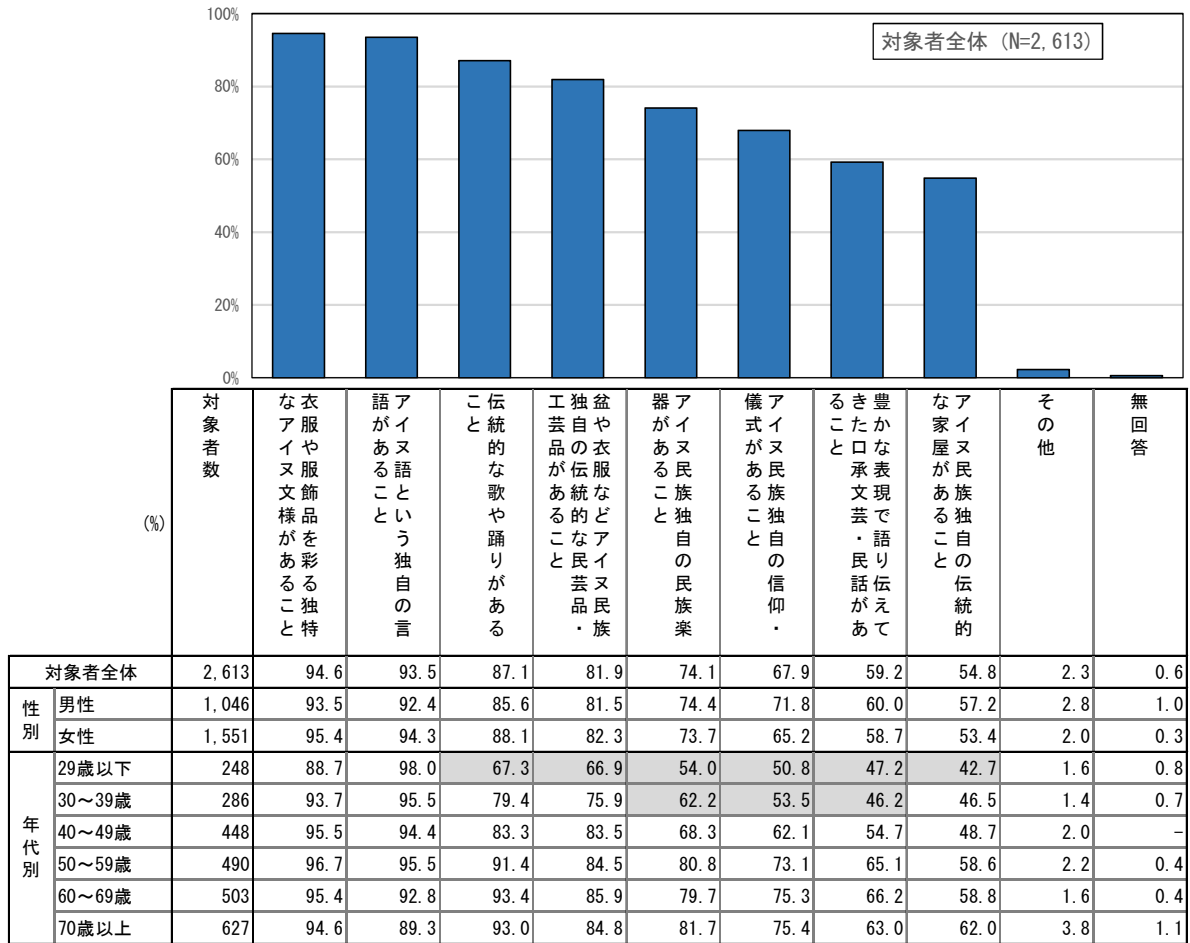
【年代別】 「現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、全国各地で暮らしていること」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇アイヌ文化について知っていること

《問11で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問11-2 あなたは、アイヌ文化についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

アイヌ文化について知っていることは「衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること」が94.6%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】 アイヌ文化について知っていることは、「衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること」が94.6%、「アイヌ語という独自の言語があること」が93.5%、「伝統的な歌や踊りがあること」が87.1%となっている。

【性別】 「アイヌ民族独自の信仰・儀式があること」は、男性で71.8%と、女性の65.2%より6.6ポイント高くなっている。

【年代別】 「伝統的な歌や踊りがあること」、「盆や衣服などアイヌ民族独自の伝統的な民芸品・工芸品があること」、「アイヌ民族独自の民族楽器があること」、「アイヌ民族独自の信仰・儀式があること」、「豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること」、「アイヌ民族独自の伝統的な家屋があること」は、29歳以下が、対象者全体と比べ10.0ポイント以上低くなっている。

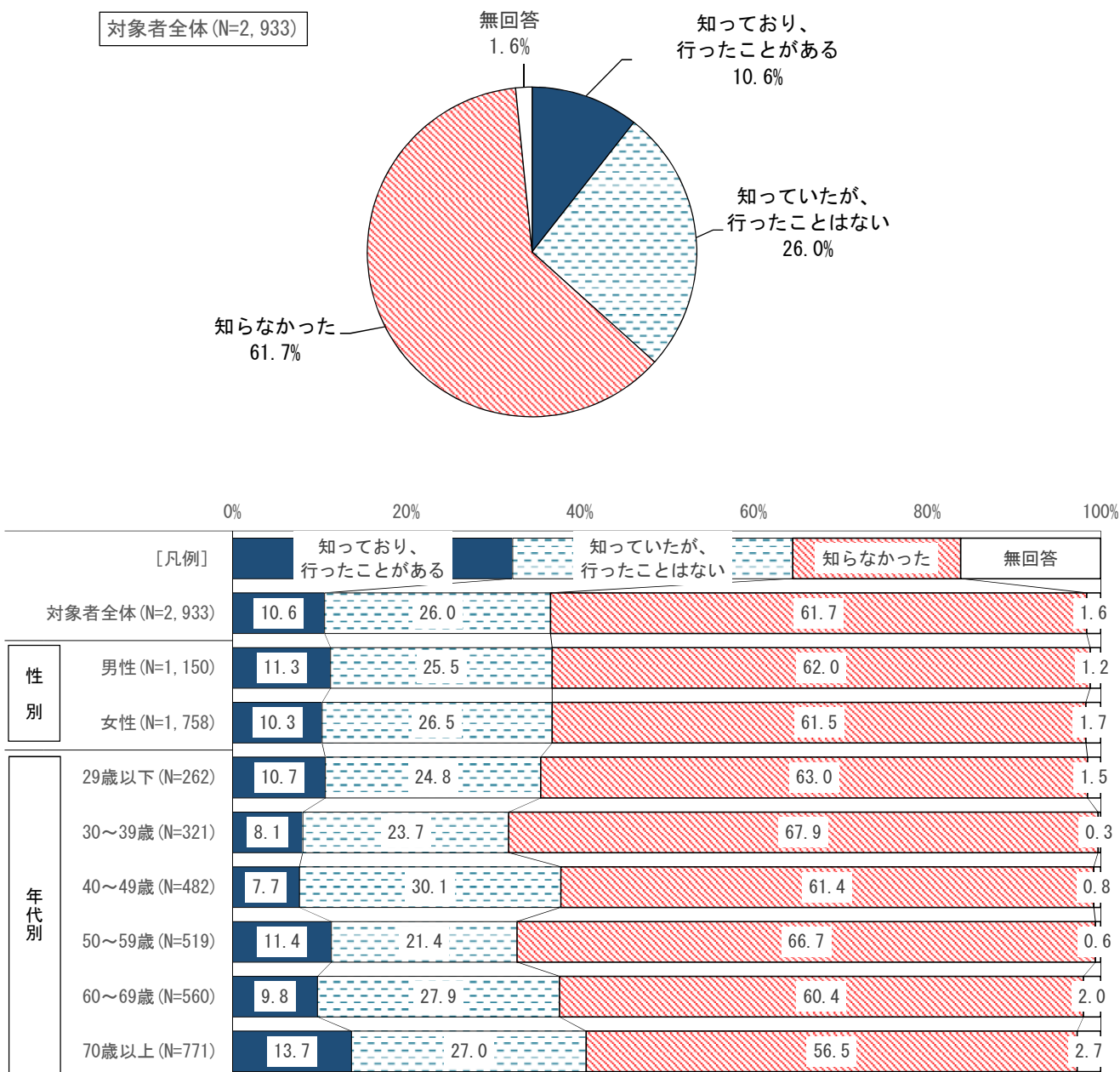
◇札幌市アイヌ文化交流センターの認知度

問 1 2 札幌市南区小金湯にある「札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）」についてお聞きします。

(1) あなたは、札幌市アイヌ文化交流センターを知っていましたか。1つだけ○をつけてください。

札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）を“知っていた”人は36.7%

※ “知っていた”（「知っており、行ったことがある」+「知っていたが、行ったことはない」）



【全 体】札幌市アイヌ文化交流センターを、「知っており、行ったことがある」が 10.6%、「知っていたが、行ったことはない」が 26.0%、合わせると 36.7%となっている。一方で、「知らなかった」が 61.7%となっている。

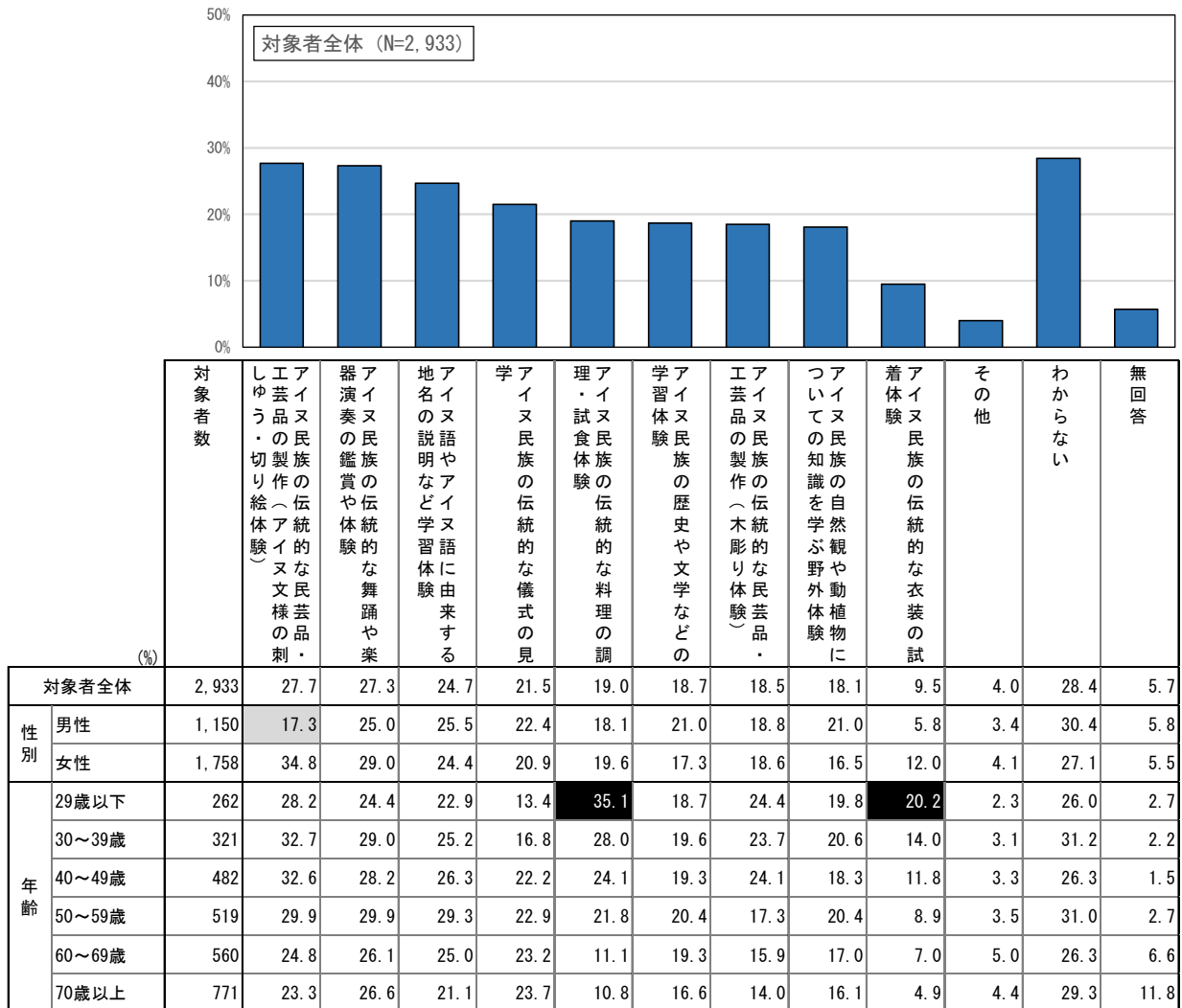
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“知っていた”は、70歳以上(40.7%)で最も高く、次いで40歳代(37.8%)、60歳代(37.7%)となっている。

◇札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加したいと思うもの

問 1 2 (2) あなたは、札幌市アイヌ文化交流センターにおいて、どのようなイベントなら参加してみたいと思いますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加してみたいものは「アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）」が27.7%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加してみたいものは、「アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）」が27.7%、「アイヌ民族の伝統的な舞踊や楽器演奏の鑑賞や体験」が27.3%、「アイヌ語やアイヌ語に由来する地名の説明など学習体験」が24.7%となっている。

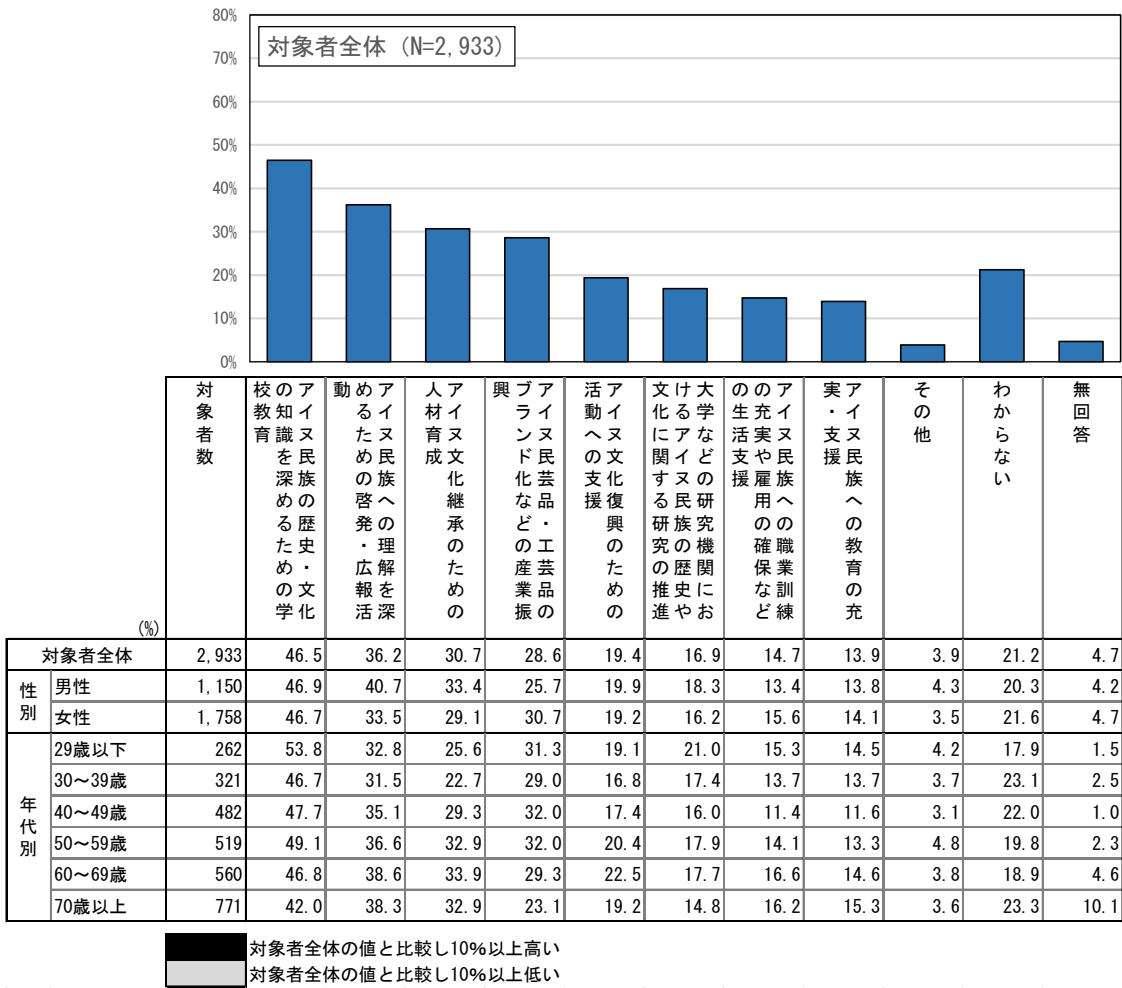
【性別】「アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）」は女性で34.8%と、男性の17.3%より17.5ポイント高くなっている。また、「アイヌ民族の伝統的な衣装の試着体験」は女性で12.0%と、男性の5.8%より6.2ポイント高くなっている。

【年代別】「アイヌ民族の伝統的な料理の調理・試食体験」、「アイヌ民族の伝統的な衣装の試着体験」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇アイヌ民族施策のうち重点的に取り組むべきもの

問 1 3 あなたは、アイヌ民族に関する施策のうち、どのような取り組みを重点的に行うべきだと思いますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

アイヌ民族に関する施策のうち重点的に取り組むべきだと思うものは「アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育」が46.5%



【全体】 アイヌ民族に関する施策のうち重点的に取り組むべきだと思うものは、「アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育」が46.5%、「アイヌ民族への理解を深めるための啓発・広報活動」が36.2%、「アイヌ文化継承のための人材育成」が30.7%となっている。

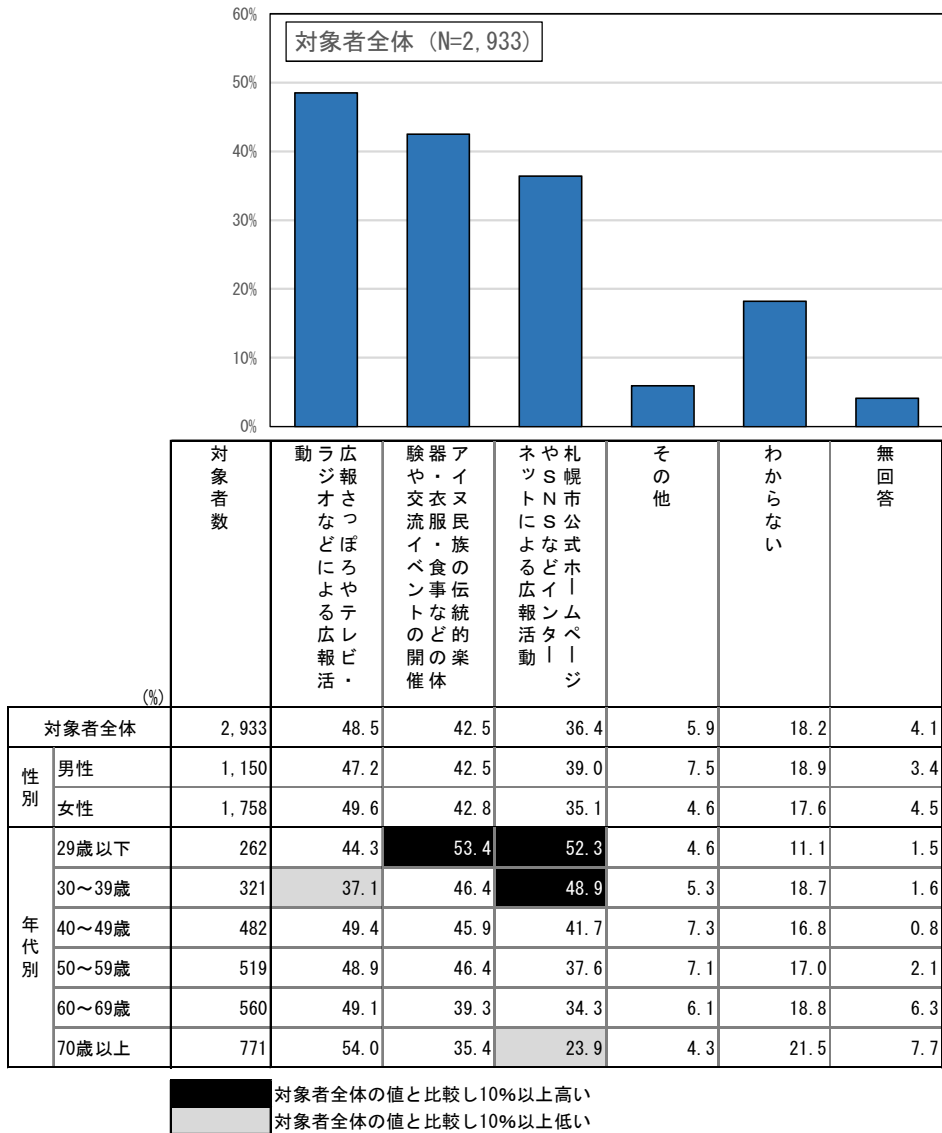
【性別】 「アイヌ民族への理解を深めるための啓発・広報活動」は、男性で40.7%と、女性の33.5%より7.2ポイント高くなっている。また、「アイヌ民芸品・工芸品のブランド化などの産業振興」は、女性で30.7%と、男性の25.7%より5.0ポイント高くなっている。

【年代別】 「アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育」は、29歳以下(53.8%)で最も高く、次いで50歳代(49.1%)、40歳代(47.7%)となっている。

◇アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきもの

問14 あなたは、アイヌ民族について市民に知っていただくために、どのような取り組みを重点的に行うべきであると考えますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきだと考えるものは「広報さっぽろやテレビ・ラジオなどによる広報活動」が48.5%



【全体】 アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきだと考えるものは、「広報さっぽろやテレビ・ラジオなどによる広報活動」が48.5%、「アイヌ民族の伝統的楽器・衣服・食事などの体験や交流イベントの開催」が42.5%、「札幌市公式ホームページやSNSなどインターネットによる広報活動」が36.4%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

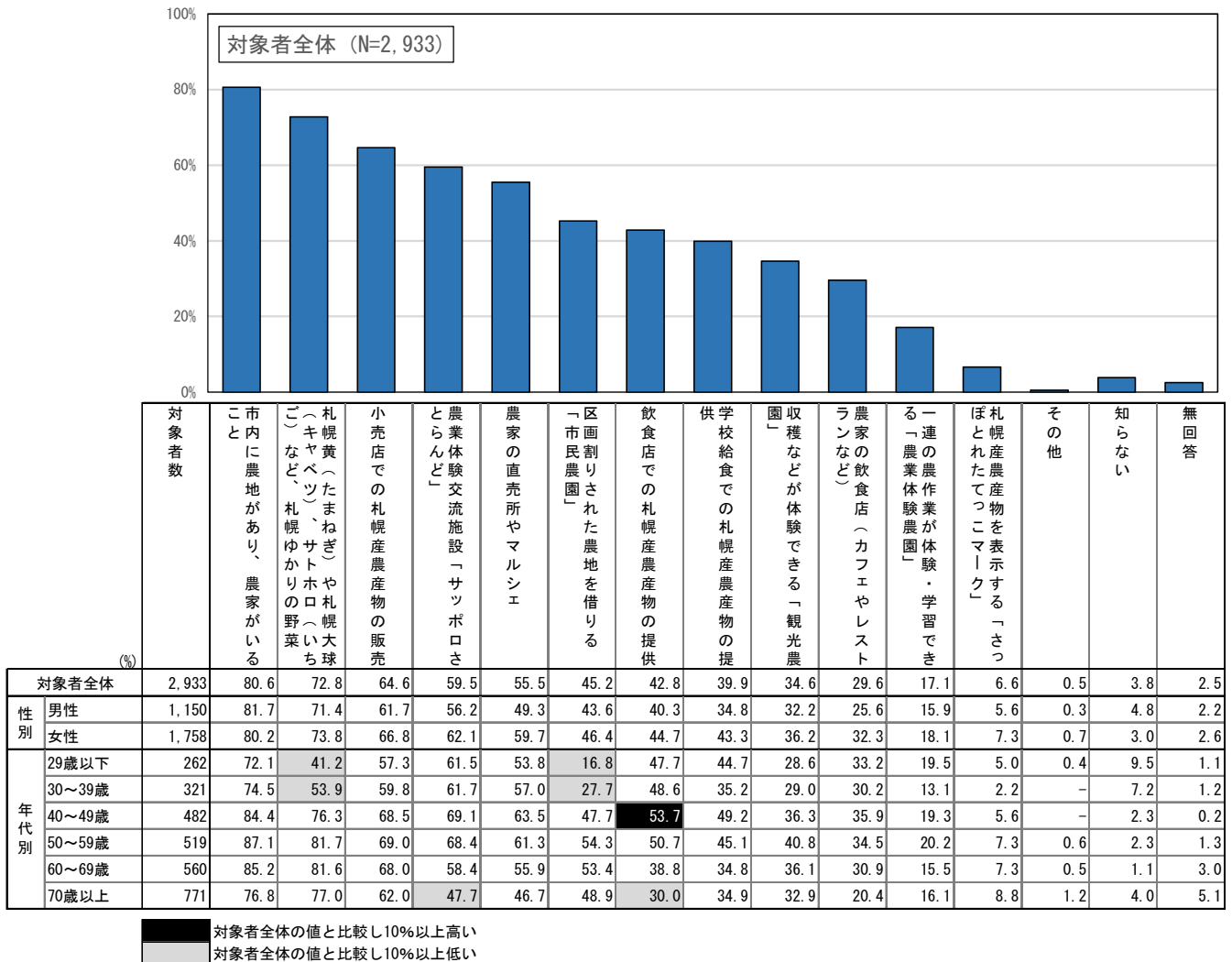
【年代別】 「札幌市公式ホームページやSNSなどインターネットによる広報活動」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

(4) 札幌の農業について

◇札幌の農業について知っていること

問 15 あなたが、札幌の農業について知っていることはどのようなことですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の農業について知っていることは「市内に農地があり、農家がいること」が 80.6%



【全体】札幌の農業について知っていることは、「市内に農地があり、農家がいること」が80.6%、「札幌黄(たまねぎ)や札幌大球(キャベツ)、サトホロ(いちご)など、札幌ゆかりの野菜」が72.8%、「小売店での札幌産農産物の販売」が64.6%となっている。

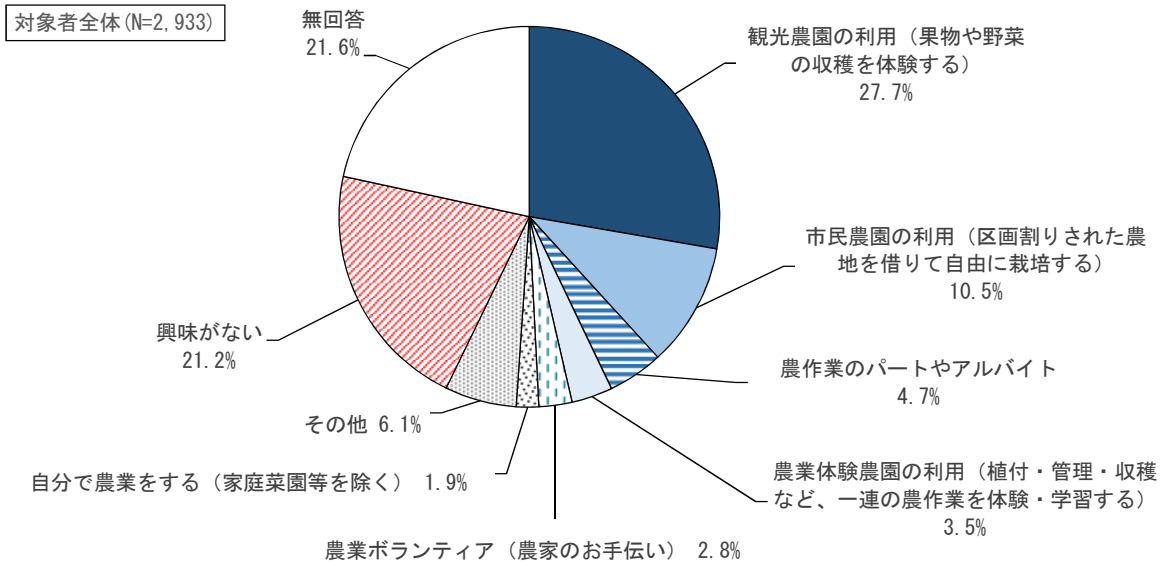
【性別】「小売店での札幌産農産物の販売」、「農業体験交流施設サツポロさとらんど」、「農家の直売所やマルシェ」「学校給食での札幌産農産物の提供」、「農家の飲食店(カフェやレストランなど)」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「札幌黄(たまねぎ)や札幌大球(キャベツ)、サトホロ(いちご)など、札幌ゆかりの野菜」は、50歳代(81.7%)で最も高く、最も低い29歳以下(41.2%)とは、40.5ポイントの差となっている。

◇農業に関わるとしたらどのように関わりたいか

問16 あなたが、今後、農業に関わるとしたら、どのような形で関わりたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

農業に関わるとしたら、どのような形で関わりたいかは「観光農園の利用（果物や野菜の収穫を体験する）」が27.7%



	対象者数	観光農園の利用（果物や野菜の収穫を体験する）	市民農園の利用（区画割りされた農地を借りて自由に栽培する）	農作業のパートやアルバイト	農業体験農園の利用（植付・管理・収穫など、一連の農作業を体験・学習する）	農業ボランティア（農家のお手伝い）	自分で農業をする（家庭菜園等を除く）	その他	興味がない	無回答
対象者全体	2,933	27.7	10.5	4.7	3.5	2.8	1.9	6.1	21.2	21.6
性別										
男性	1,150	20.9	14.1	4.6	4.4	3.0	2.6	5.3	24.0	21.0
女性	1,758	32.3	8.2	4.8	3.0	2.6	1.4	6.5	19.3	21.8
年代別										
29歳以下	262	35.5	5.3	8.0	4.6	3.8	1.9	0.8	19.5	20.6
30～39歳	321	30.2	10.6	6.5	2.8	1.9	3.1	1.9	21.2	21.8
40～49歳	482	32.0	9.1	5.8	5.0	2.7	2.3	3.1	21.0	19.1
50～59歳	519	29.1	9.6	7.7	2.9	1.9	2.3	3.7	22.5	20.2
60～69歳	560	27.1	13.0	3.4	2.3	2.9	1.6	6.6	23.0	20.0
70歳以上	771	20.9	11.9	1.0	4.0	3.5	1.0	12.8	19.6	25.2

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】農業に関わるとしたら、どのような形で関わりたいかは、「観光農園の利用（果物や野菜の収穫を体験する）」が27.7%、「市民農園の利用（区画割りされた農地を借りて自由に栽培する）」が10.5%、「農作業のパートやアルバイト」が4.7%となっている。

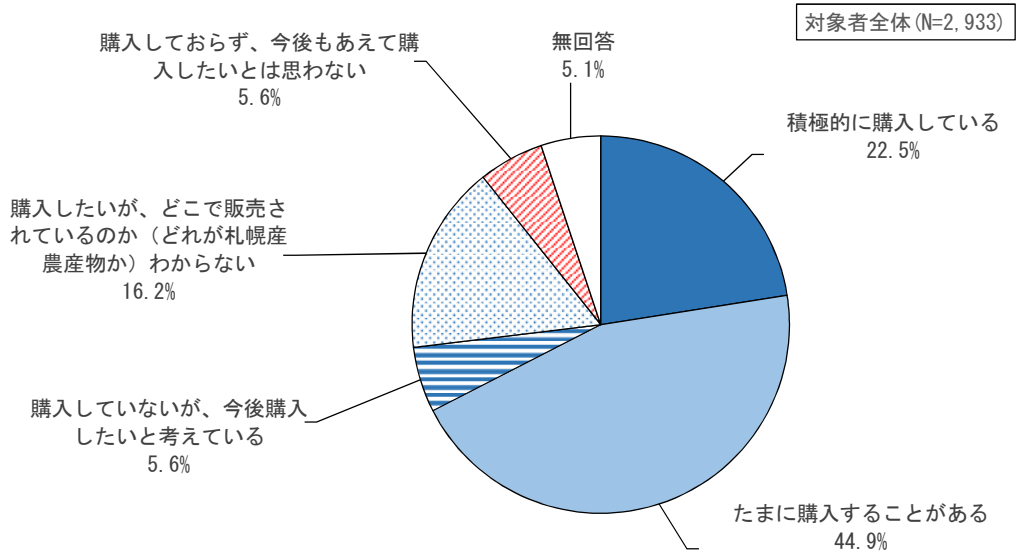
【性別】「観光農園の利用（果物や野菜の収穫を体験する）」は、女性で32.3%と男性の20.9%より11.4ポイント高くなっている。また、「市民農園の利用（区画割りされた農地を借りて自由に栽培する）」は、男性で14.1%と女性の8.2%より5.9ポイント高くなっている。

【年代別】「観光農園の利用（果物や野菜の収穫を体験する）」は、29歳以下(35.5%)で最も高く、最も低い70歳以上(20.9%)とは、14.6ポイントの差となっている。

◇札幌産農産物の購入状況及び購入意欲

問 1 7 札幌産農産物の購入状況及び購入意欲について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌産農産物の購入状況及び購入意欲について「積極的に購入している」が22.5%



	対象者数	積極的に購入している (%)	たまに購入することがある (%)	購入していないが、今後購入したいと考えている (%)	購入しているが、どこで販売されているのか(どれが札幌産農産物か)わからない (%)	購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない (%)	無回答 (%)
対象者全体	2,933	22.5	44.9	5.6	16.2	5.6	5.1
性別							
男性	1,150	16.6	44.9	6.9	19.1	7.7	4.8
女性	1,758	26.3	45.3	4.7	14.2	4.2	5.3
年代別							
29歳以下	262	9.5	38.5	14.1	19.8	16.4	1.5
30～39歳	321	14.6	45.2	8.1	20.9	8.7	2.5
40～49歳	482	25.5	49.0	5.4	13.3	4.6	2.3
50～59歳	519	26.0	46.4	6.0	13.9	3.5	4.2
60～69歳	560	23.6	46.6	4.3	15.9	4.6	5.0
70歳以上	771	25.3	42.7	2.6	16.6	3.2	9.6

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全 体】札幌産農産物の購入状況及び購入意欲について、「積極的に購入している」が22.5%、「たまに購入することがある」が44.9%、「購入していないが、今後購入したいと考えている」が5.6%、「購入したいが、どこで販売されているのか(どれが札幌産農産物か)わからない」が16.2%、「購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない」が5.6%となっている。

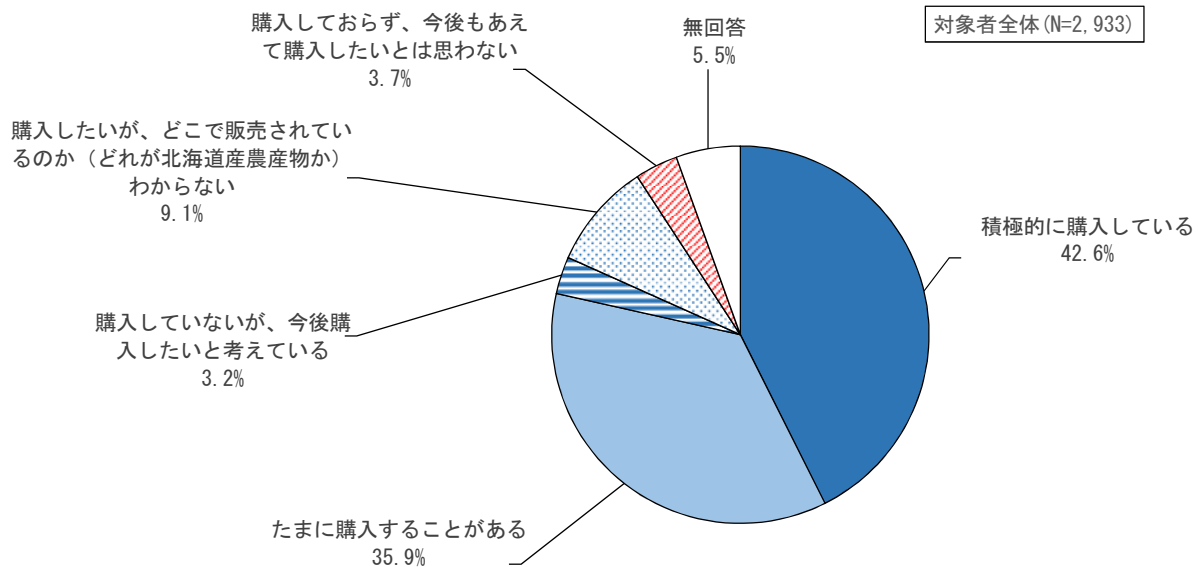
【性 別】「積極的に購入している」は、女性で26.3%と、男性の16.6%より9.7ポイント高くなっている。

【年代別】「積極的に購入している」は、50歳代(26.0%)で最も高く、最も低い29歳以下(9.5%)とは、16.5ポイントの差となっている。また、「購入していないが、今後購入したいと考えている」は、29歳以下(14.1%)で最も高く、最も低い70歳以上(2.6%)とは、11.5ポイントの差となっている。

◇北海道産農産物の購入状況及び購入意欲

問 1 8 北海道産農産物の購入状況及び購入意欲について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

北海道産農産物の購入状況及び購入意欲について「積極的に購入している」が42.6%



	対象者数	積極的に購入している	たまに購入することがある	購入していないが、今後購入したいと考えている	購入したいが、どこで販売されているのか(どれが北海道産農産物か)わからない	購入しておらず、今後ともあえて購入したいとは思わない	無回答
	(%)						
対象者全体	2,933	42.6	35.9	3.2	9.1	3.7	5.5
性別							
男性	1,150	37.5	37.7	4.7	11.0	5.0	4.3
女性	1,758	45.9	35.0	2.2	7.7	3.0	6.1
年代別							
29歳以下	262	29.0	40.8	8.8	8.8	10.7	1.9
30～39歳	321	37.4	42.7	3.4	9.3	4.4	2.8
40～49歳	482	52.3	33.8	2.1	5.8	2.9	3.1
50～59歳	519	48.2	37.0	2.7	5.8	2.1	4.2
60～69歳	560	42.1	36.6	2.7	10.0	3.2	5.4
70歳以上	771	39.9	31.8	2.7	12.7	3.1	9.7

対象者全体の値と比較し10%以上高い
 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全 体】北海道産農産物の購入状況及び購入意欲について、「積極的に購入している」が42.6%、「たまに購入することがある」が35.9%、「購入していないが、今後購入したいと考えている」が3.2%、「購入したいが、どこで販売されているのか(どれが北海道産農産物か)わからない」が9.1%、「購入しておらず、今後ともあえて購入したいとは思わない」が3.7%となっている。

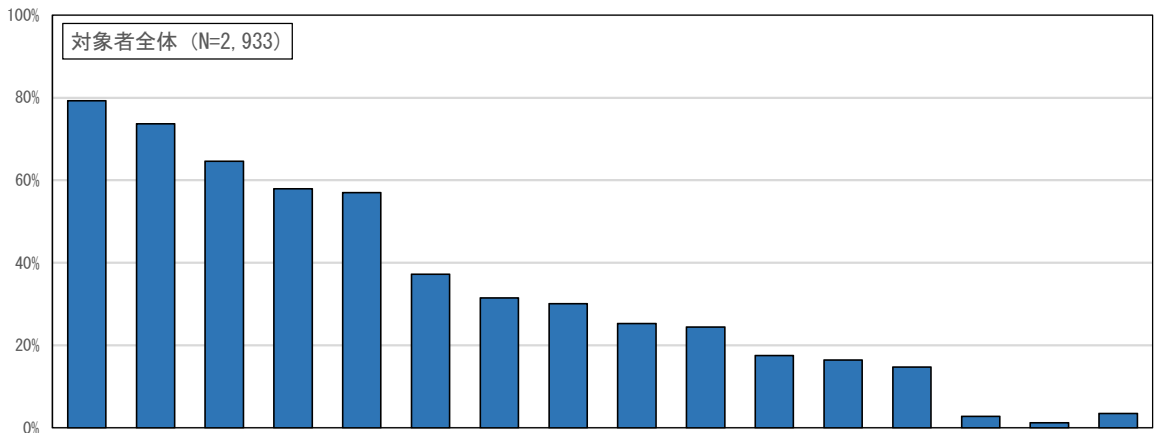
【性 別】「積極的に購入している」は、女性で45.9%と、男性の37.5%より8.4ポイント高くなっている。

【年代別】「積極的に購入している」は、40歳代(52.3%)で最も高く、最も低い29歳以下(29.0%)とは、23.3ポイントの差となっている。

◇札幌産農産物に期待すること

問 1 9 あなたが、札幌産農産物に期待することは何ですか。あてまるものいくつでも○をつけてください。

札幌産農産物に期待することは「新鮮さ」が79.3%



対象者数		新鮮さ	安全・安心(減農薬など)	味や品質の良さ	スーパーなどの小売店での販売	季節ごとの旬の農産物	地域ならではの特色ある農産物	学校給食での提供	生産者の顔が見える(身近に感じる)	農家等による直売所やマルシェでの販売	一般的な飲食店(カフェやレストランなど)での提供	健康の維持及び増進に役立つ(機能性農産物)	種類の豊富さ	農家等による飲食店(カフェやレストランなど)での提供	その他	期待していない	無回答	
対象者全体		2,933	79.3	73.7	64.6	57.9	57.0	37.2	31.5	30.1	25.3	24.4	17.5	16.4	14.7	2.8	1.2	3.5
性別	男性	1,150	75.2	69.0	64.7	50.3	53.2	39.0	26.5	25.6	22.3	20.3	17.4	15.7	12.0	3.2	2.2	3.1
	女性	1,758	82.0	77.0	64.6	62.9	59.5	35.9	34.9	33.0	27.1	27.1	17.3	16.6	16.5	2.6	0.6	3.6
年代別	29歳以下	262	66.4	71.0	74.0	49.6	42.0	36.6	32.8	18.7	16.8	30.9	15.6	17.2	15.3	5.0	3.1	1.5
	30~39歳	321	76.0	71.7	69.2	55.5	50.2	36.8	31.8	20.2	22.1	30.2	15.9	15.3	17.8	3.4	2.5	2.8
	40~49歳	482	76.1	74.9	66.0	61.6	54.6	38.0	42.7	26.6	25.5	30.3	11.6	13.9	16.8	3.5	0.6	1.7
	50~59歳	519	84.4	78.0	70.7	60.1	61.7	37.0	32.9	32.6	29.3	29.3	15.6	14.8	18.5	2.5	1.0	3.5
	60~69歳	560	83.2	75.5	60.7	60.5	63.0	39.5	31.1	36.3	28.4	21.3	18.8	17.7	15.7	2.0	1.3	3.8
	70歳以上	771	80.9	71.2	57.7	56.4	59.3	35.5	23.5	34.6	24.4	15.3	22.8	18.0	8.8	2.2	0.5	5.1

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】札幌産農産物に期待することは、「新鮮さ」が79.3%、「安全・安心(減農薬など)」が73.7%、「味や品質の良さ」が64.6%となっている。

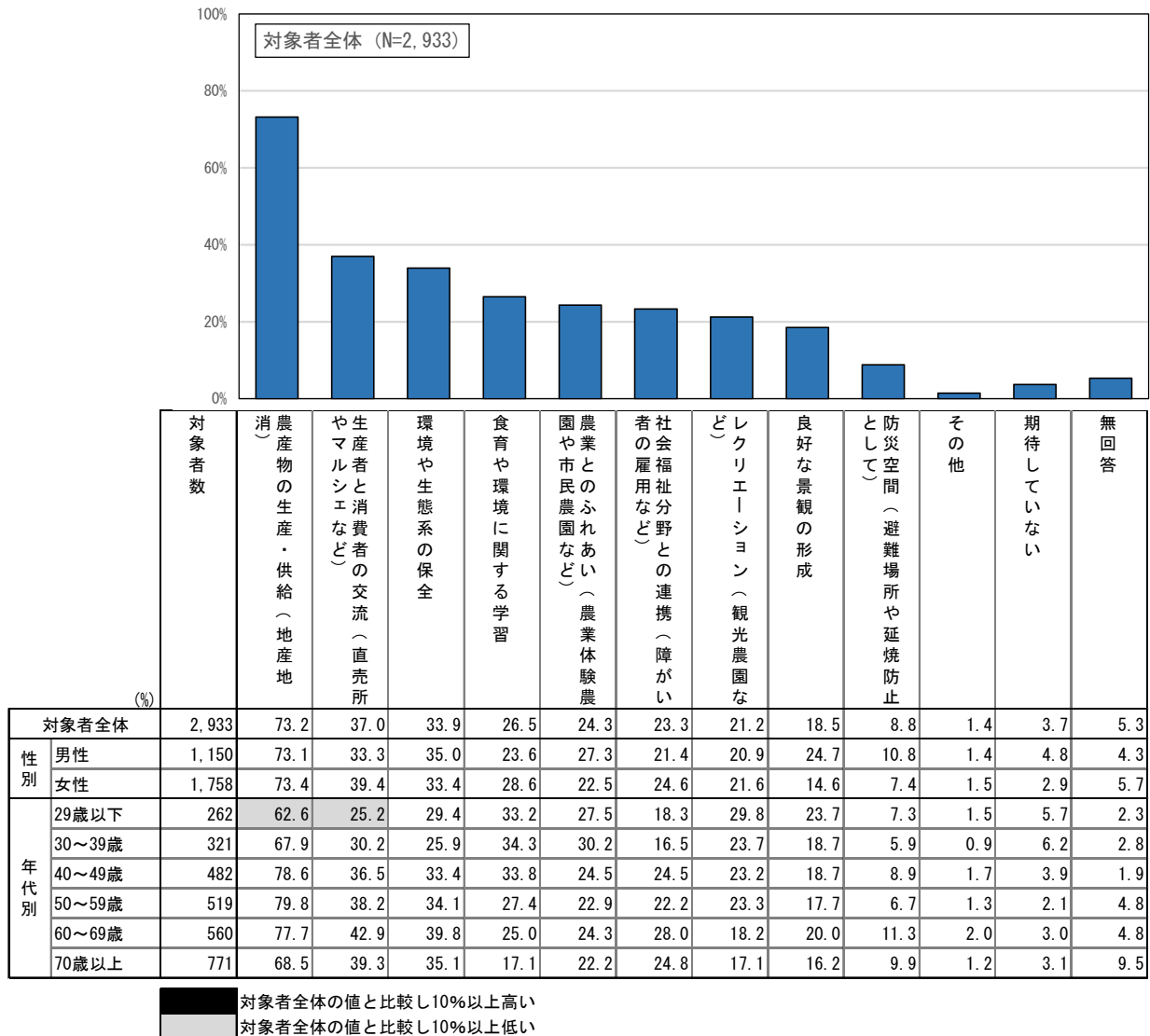
【性別】「新鮮さ」、「安全・安心(減農薬など)」、「スーパーなどの小売店での販売」、「季節ごとの旬の農産物」、「学校給食での提供」、「生産者の顔が見える(身近に感じる)」、「一般的な飲食店(カフェやレストランなど)での提供」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「新鮮さ」は、50歳代(84.4%)で最も高く、最も低い29歳以下(66.4%)とは、18.0ポイントの差となっている。

◇札幌の農業や農地に期待する機能や役割

問20 あなたは、札幌の農業や農地にどのような機能や役割を期待しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の農業や農地に期待する機能や役割は「農産物の生産・供給（地産地消）」が73.2%



【全体】札幌の農業や農地に期待する機能や役割は、「農産物の生産・供給（地産地消）」が73.2%、「生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）」が37.0%、「環境や生態系の保全」が33.9%となっている。

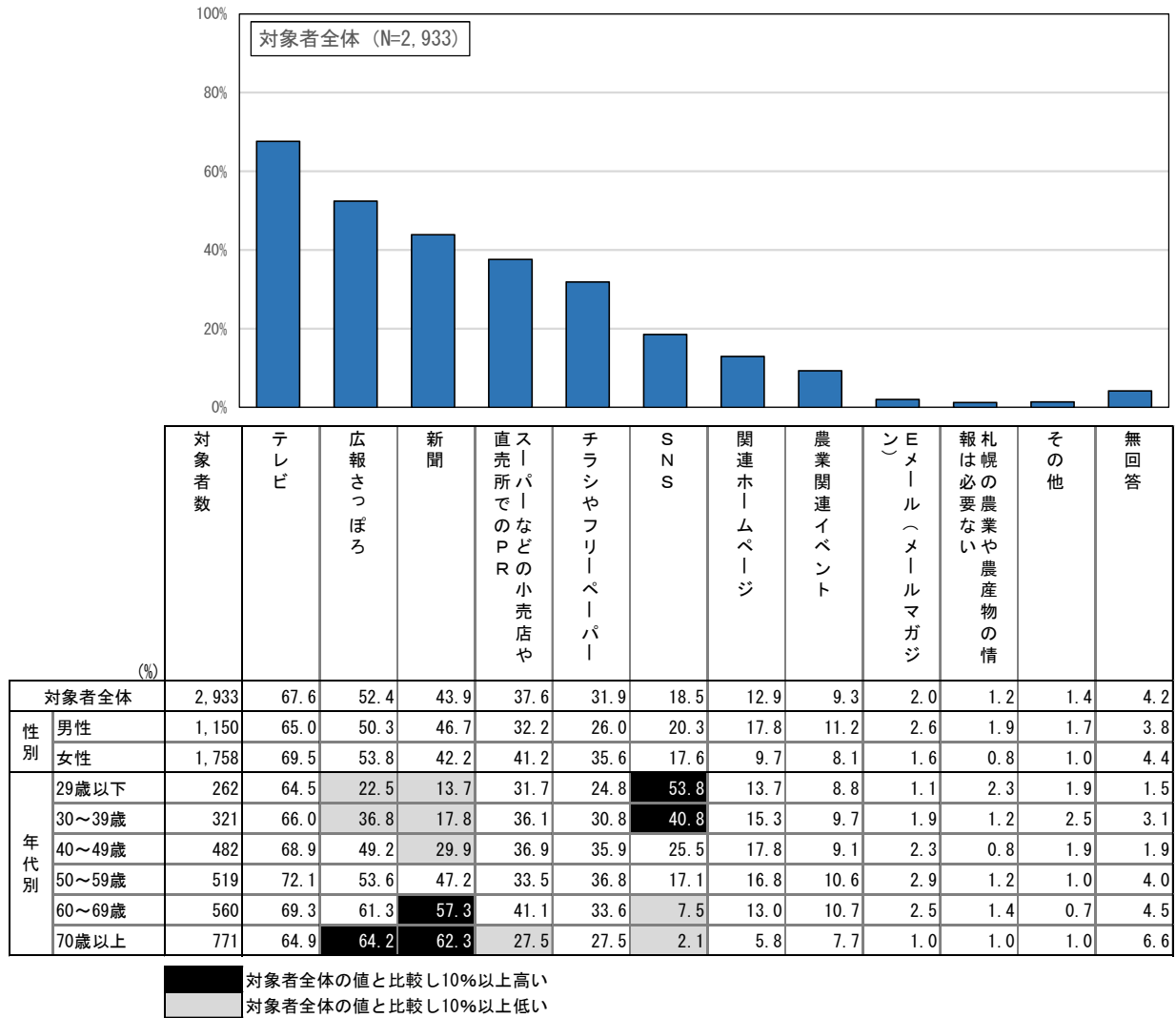
【性別】「生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）」、「食育や環境に関する学習」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「良好な景観の形成」は、男性で24.7%と、女性の14.6%より10.1ポイント高くなっている。

【年代別】「農産物の生産・供給（地産地消）」は、50歳代（79.8%）で最も高く、最も低い29歳以下（62.6%）とは、17.2ポイントの差となっている。また、「生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）」は、60歳代（42.9%）で最も高く、最も低い29歳以下（25.2%）とは、17.7ポイントの差となっている。

◇札幌の農業や農産物などの情報をどのような媒体から得たいか

問21 あなたは、札幌の農業や農産物、また関連するイベントや講座などの情報を何から得たいですか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

札幌の農業や農産物などの情報をどのような媒体から得たいかは「テレビ」が67.6%



【全体】札幌の農業や農産物などの情報をどのような媒体から得たいかは、「テレビ」が67.6%、「広報さっぽろ」が52.4%、「新聞」が43.9%となっている。

【性別】「スーパーなどの小売店や直売所でのPR」、「チラシやフリーペーパー」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「関連ホームページ」は、男性で17.8%と、女性の9.7%より8.1ポイント高くなっている。

【年代別】「広報さっぽろ」、「新聞」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。一方で、「SNS」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

資料 調査票

令和2年度第1回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。
札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじびきのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和2年7月10日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。

ご不明な点やお問い合わせは
札幌市総務局広報部市民の声を聞く課
担当 小野 ☎ 211-2045 まで

テーマ1 動物園の必要性和役割について

札幌市では、動物園の役割や動物福祉の向上について規定する「(仮称)動物園条例」の制定を検討しています。皆さまに円山動物園はどのような存在であるべきか、また、どのような運営を行うべきかなどについてお聞きし、条例に盛り込む内容や今後の動物園運営の参考とさせていただきます。

問1 あなたは、どのくらいの頻度で円山動物園に行きますか。もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|---|-----------------|
| 1 毎月1回以上行く | } | ⇒ 問2 へ |
| 2 年に1回以上行く | | |
| 3 数年に1回程度行く | | |
| 4 5年以上行ってない又は行ったことがない | | ⇒ 問1-1 へ |

《**問1**で「4 5年以上行ってない又は行ったことがない」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたが、円山動物園に行かない理由は何ですか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 円山動物園を知らなかった | 2 一緒に行く人がいない |
| 3 交通の便が悪い | 4 見たい動物がいない |
| 5 動物の動く姿が見られない | 6 動物園に関する情報が少ない |
| 7 子どもが大きくなった | 8 入園料が高い |
| 9 興味がない | 10 臭いが気になる |
| 11 時間がない | 12 園内を歩くのがつらい |
| 13 他の類似施設の方が楽しい | 14 見飽きた |
| 15 駐車場が混んでいる | 16 その他 () |

《皆さまにお聞きします。》

問2 あなたは、札幌の街にとって、円山動物園は必要だと思いますか。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 必要 ⇒ 問2-1 へ | 2 必要ない ⇒ 問2-2 へ |
|----------------------|------------------------|

《**問2**で「1 必要」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 必要だと思う理由は何ですか。優先順位が高いものに3つまで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 市民生活が豊かになるから |
| 2 動物園のある街は文化的だと思うから |
| 3 気軽に本物の動物を見ることができるから |
| 4 癒しやくつろぎの場として必要だから |
| 5 子どもを連れていく場所として必要だから |
| 6 自然の大切さや生きものつながりを感じて学ぶことができるから |
| 7 未来の子どもたちの学びの場として必要だから |
| 8 希少な野生動物を守り、未来へ受け継ぐ施設として重要だから |
| 9 その他 () |

◀問2で「2 必要ない」と答えた方にお聞きします。▶

問2-2 必要ないと思う理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 興味がないから | 2 見たい動物がいないから |
| 3 面白くないから | 4 動物がかawaiiそうに見えるから |
| 5 動物園にかかる費用を他の政策に充ててほしいから | |
| 6 その他 () | |

動物園は、世界のさまざまな動物を展示することを通じて、市民に野生動物やその生息環境の問題を知っていただき、生物多様性(※)保全の重要性への認識を高めていただくとともに、飼育・繁殖技術を研究し、絶滅の恐れのある希少な野生動物の種を絶やさないよう取り組んでいます。

※「生物多様性」とは、多種多様な生き物が存在し、それらが食べたり食べられたり、助け合ったりして互いにつながりを持っていることを表す言葉です。この生き物たちのつながりにより、地球上では豊かな生態系が保たれています。生物多様性については、テーマ2でもお聞きします。

問3 あなたは、動物園が生物多様性の保全に貢献するための活動を行っていることを知っていましたか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問4 円山動物園が行っている生物多様性の保全活動には以下のような取り組みがありますが、あなたが知っているものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 希少な野生動物の飼育繁殖技術の確立 | |
| 2 ニホンザリガニプロジェクト（市内の生息状況調査、普及啓発） | |
| 3 オオワシプログラム推進事業（野生復帰技術の確立） | |
| 4 ホッキョクグマ保全推進事業（生息地の保全活動機関との連携） | |
| 5 アジアゾウ繁殖推進事業（海外専門家による職員の技術研修の実施） | |
| 6 園内における解説やガイドの実施 | |
| 7 総合学習の受け入れなどの学校教育との連携 | |
| 8 その他 () | |
| 9 知っている取り組みはない | |

問5 あなたは、円山動物園が行う生物多様性の保全活動について、どのような方法であれば参加又は支援したいと思えますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 動物園のボランティア活動に参加 | 2 動物園で環境について学ぶ |
| 3 動物園の活動を家族や知人に広める | 4 動物園の保全活動にお金を寄付 |
| 5 動物園の保全活動に必要な物品を寄付 | 6 動物園と協働して保全活動を行う団体に所属 |
| 7 動物園を支援している企業や団体に寄付 | 8 その他 () |
| 9 参加・支援は考えていない | |

テーマ2 自然と生物多様性について

札幌市では、自然や生物多様性を守り育てるためのさまざまな保全の取り組みを行っています。そこで、皆さまの自然や生物多様性に対する意識などをお聞きし、今後の保全活動の参考とさせていただきます。

問8 あなたは、自然に関することについてどのようなことに興味がありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 自然の風景や景色 | 2 動物やペット |
| 3 昆虫 | 4 植物 |
| 5 登山・キャンプ・海水浴などの娯楽 | 6 自然観察会・自然体験ツアーなどの体験活動 |
| 7 山菜・きのこ・魚介類などの食料 | 8 園芸・家庭菜園 |
| 9 自然保護活動 | 10 大気汚染や水質汚染などの環境問題 |
| 11 その他 () | 12 自然に興味がない |

テーマ1でふれましたが、「生物多様性」とは、多種多様な生き物が存在し、それらが食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして互いにつながりを持っていることを表す言葉です。
この生き物たちのつながりにより、地球上では豊かな生態系が保たれています。

問9 あなたは、上記の説明にあるような「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 意味を知っていた | } ⇒ 問9-1 へ |
| 2 言葉は知っていたが、意味までは知らなかった | |
| 3 知らなかった | ⇒ 問10 へ |

《**問9**で「1 意味を知っていた」または「2 言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」と答えた方にお聞きします。》

問9-1 あなたが「生物多様性」を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 テレビ・ラジオ | 2 新聞 |
| 3 書籍 | 4 生物多様性関係のイベントや講習会 |
| 5 自然観察会 | 6 小学校の授業 |
| 7 中学校の授業 | 8 高等学校の授業 |
| 9 大学、専門学校の授業・講義 | 10 仕事・会社で関わりがあった |
| 11 友人・知人から聞いた | 12 札幌市公式ホームページ |
| 13 札幌市で発行している冊子・チラシ | 14 札幌市の出前講座 |
| 15 その他 () | 16 覚えていない |

《皆さまにお聞きします。》

問 1 0 次の行動は、「生物多様性」の保全につながる行動ですが、あなたが実際に行っているものがありますか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

- 1 節電や適切な冷暖房温度の設定をしている
- 2 旬の食材を選んで購入している
- 3 地元の食材を選んで購入している
- 4 生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てている
- 5 環境に配慮した商品を優先的に購入している
- 6 外に出て積極的に自然の中で過ごしている
- 7 円山動物園の活動を応援している
- 8 身近な生き物を観察している
- 9 自然や生き物について家族や友人と話をしている
- 10 自然保護活動や美化活動に参加している
- 11 自然観察会や講演会などに参加している
- 12 その他の行動 ()
- 13 上記の行動はしていない ⇒ **問 1 0 - 2** へ

⇒ **問 1 0 - 1** へ

《**問 1 0**で「1」から「12」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問 1 0 - 1 あなたが「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは何ですか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 行動の効果や成果が見えにくい | 2 今行っている行動が正しいかどうかわからない |
| 3 一緒にやる人がいない | 4 時間がない |
| 5 お金がかかる | 6 活動を行う場所がない |
| 7 評価されることが少ない | 8 面倒である |
| 9 周囲の関心が低い | 10 今の行動のほかに何をしたらよいかわからない |
| 11 その他 () | 12 特にない |

《**問 1 0**で「13 上記の行動はしていない」と答えた方にお聞きします。》

問 1 0 - 2 次の「生物多様性」の保全につながる行動のうち、今後やってみたいと思うものはありますか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

- 1 節電や適切な冷暖房温度の設定をする
- 2 旬の食材を選んで購入する
- 3 地元の食材を選んで購入する
- 4 生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てる
- 5 環境に配慮した商品を優先的に購入する
- 6 外に出て自然と積極的に触れ合う
- 7 円山動物園の活動を応援する
- 8 身近な生き物を観察する
- 9 自然や生き物について家族や友人と話をする
- 10 自然保護活動や美化活動に参加する
- 11 自然観察会や講演会などに参加する
- 12 その他の行動 ()
- 13 やってみたいと思う行動はない

テーマ3 札幌市のアイヌ施策について

札幌市では、アイヌ民族に関わる施策を総合的に推進するため、令和3年度からの新たな計画「(仮称)第2次札幌市アイヌ施策推進計画」の策定に向けて検討を進めているところです。

そこで、皆さまのアイヌ施策に関する意識をお聞きし、計画づくりの参考とさせていただきます。

問11 あなたは、アイヌ民族について知っていますか。

- 1 知っている (ご自身がアイヌ民族である場合を含みます) ⇒ **問11-1** へ
- 2 知らない ⇒ **問12** へ

《**問11**で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問11-1 あなたは、アイヌ民族についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 アイヌ民族が先住民族であるということ
- 2 アイヌ民族が独自の伝統的文化を形成してきたこと
- 3 明治時代以降、多くのアイヌ民族が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと
- 4 中世以降、和人 (日本の多数民族。大和民族とも呼ばれる) との間に交流や争いなどがあったこと
- 5 現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、全国各地で暮らしていること
- 6 個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保存、継承、振興などに取り組んでいるアイヌ民族がいること
- 7 その他 ()

《引き続き、**問11**で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問11-2 あなたは、アイヌ文化についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること
- 2 アイヌ語という独自の言語があること
- 3 盆や衣服などアイヌ民族独自の伝統的な民芸品・工芸品があること
- 4 伝統的な歌や踊りがあること
- 5 豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること
- 6 アイヌ民族独自の民族楽器があること
- 7 アイヌ民族独自の信仰・儀式があること
- 8 アイヌ民族独自の伝統的な家屋があること
- 9 その他 ()

《皆さまにお聞きします。》

問12 札幌市南区小金湯にある「札幌市アイヌ文化交流センター(サップロピリカコタン)」についてお聞きします。

(1) あなたは、札幌市アイヌ文化交流センターを知っていましたか。1つだけ○をつけてください。

- 1 知っており、行ったことがある
- 2 知っていたが、行ったことはない
- 3 知らなかった

(2) あなたは、札幌市アイヌ文化交流センターにおいて、どのようなイベントなら参加してみたいと思いますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

- 1 アイヌ民族の伝統的な舞踊や楽器演奏の鑑賞や体験
- 2 アイヌ民族の伝統的な儀式の見学
- 3 アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）
- 4 アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（木彫り体験）
- 5 アイヌ民族の伝統的な料理の調理・試食体験
- 6 アイヌ民族の伝統的な衣装の試着体験
- 7 アイヌ語やアイヌ語に由来する地名の説明など学習体験
- 8 アイヌ民族の歴史や文学などの学習体験
- 9 アイヌ民族の自然観や動植物についての知識を学ぶ野外体験
- 10 その他（)
- 11 わからない

問13 あなたは、アイヌ民族に関する施策のうち、どのような取り組みを重点的に行うべきだと思いますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

- 1 アイヌ民族への理解を深めるための啓発・広報活動
- 2 アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育
- 3 アイヌ民族への職業訓練の充実や雇用の確保などの生活支援
- 4 アイヌ民族への教育の充実・支援
- 5 アイヌ文化継承のための人材育成
- 6 アイヌ文化復興のための活動への支援
- 7 アイヌ民芸品・工芸品のブランド化などの産業振興
- 8 大学などの研究機関におけるアイヌ民族の歴史や文化に関する研究の推進
- 9 その他（)
- 10 わからない

問14 あなたは、アイヌ民族について市民に知っていただくために、どのような取り組みを重点的に行うべきであると考えますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市公式ホームページやSNS（※）などインターネットによる広報活動
- 2 広報さっぽろやテレビ・ラジオなどによる広報活動
- 3 アイヌ民族の伝統的楽器・衣服・食事などの体験や交流イベントの開催
- 4 その他（)
- 5 わからない

※ Facebook、Twitter、Instagram などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

テーマ4 札幌の農業について

札幌の農業や農地は、市民に新鮮な農産物や農業と触れ合う機会を提供し、貴重な緑地環境としての役割を担っています。しかしながら、都市化による農地の減少や、農家の高齢化など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

そこで、札幌の農業に関する皆さまの意識などをお聞きし、今後の農業振興施策の参考とさせていただきます。



さっぽろとれたてっこマーク

問15 あなたが、札幌の農業について知っていることはどのようなことですか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

- 1 市内に農地があり、農家がいること
- 2 小売店での札幌産農産物の販売
- 3 飲食店での札幌産農産物の提供
- 4 学校給食での札幌産農産物の提供
- 5 札幌産農産物を表示する「さっぽろとれたてっこマーク」
- 6 札幌黄（たまねぎ）や札幌大球（キャベツ）、サトホロ（いちご）など、札幌ゆかりの野菜
- 7 農家の直売所やマルシェ
- 8 農家の飲食店（カフェやレストランなど）
- 9 収穫などが体験できる「観光農園」
- 10 一連の農作業が体験・学習できる「農業体験農園」
- 11 区画割りされた農地を借りる「市民農園」
- 12 農業体験交流施設「サッポロさとらんど」
- 13 その他（ ）
- 14 知らない

問16 あなたが、今後、農業に関わるとしたら、どのような形で関わりたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 市民農園の利用（区画割りされた農地を借りて自由に栽培する）
- 2 観光農園の利用（果物や野菜の収穫を体験する）
- 3 農業体験農園の利用（植付・管理・収穫など、一連の農作業を体験・学習する）
- 4 農業ボランティア（農家のお手伝い）
- 5 農作業のパートやアルバイト
- 6 自分で農業をする（家庭菜園等を除く）
- 7 その他（ ）
- 8 興味がない

問 17 札幌産農産物の購入状況及び購入意欲について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 積極的に購入している
- 2 たまに購入することがある
- 3 購入していないが、今後購入したいと考えている
- 4 購入したいが、どこで販売されているのか（どれが札幌産農産物か）わからない
- 5 購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない

問 18 北海道産農産物の購入状況及び購入意欲について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 積極的に購入している
- 2 たまに購入することがある
- 3 購入していないが、今後購入したいと考えている
- 4 購入したいが、どこで販売されているのか（どれが北海道産農産物か）わからない
- 5 購入しておらず、今後もあえて購入したいとは思わない

問 19 あなたが、札幌産農産物に期待することは何ですか。あてまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新鮮さ
- 2 安全・安心（減農薬など）
- 3 味や品質の良さ
- 4 季節ごとの旬の農産物
- 5 地域ならではの特色ある農産物
- 6 健康の維持及び増進に役立つ（機能性農産物）
- 7 種類の豊富さ
- 8 生産者の顔が見える（身近に感じる）
- 9 スーパーなどの小売店での販売
- 10 農家等による直売所やマルシェでの販売
- 11 学校給食での提供
- 12 一般的な飲食店（カフェやレストランなど）での提供
- 13 農家等による飲食店（カフェやレストランなど）での提供
- 14 その他（)
- 15 期待していない

問 2 0 あなたは、札幌の農業や農地にどのような機能や役割を期待しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 農産物の生産・供給（地産地消）
- 2 レクリエーション（観光農園など）
- 3 農業とのふれあい（農業体験農園や市民農園など）
- 4 生産者と消費者の交流（直売所やマルシェなど）
- 5 食育や環境に関する学習
- 6 社会福祉分野との連携（障がい者の雇用など）
- 7 防災空間（避難場所や延焼防止として）
- 8 良好な景観の形成
- 9 環境や生態系の保全
- 10 その他（)
- 11 期待していない

問 2 1 あなたは、札幌の農業や農産物、また関連するイベントや講座などの情報を何から得たいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 テレビ
- 2 新聞
- 3 広報さっぽろ
- 4 チラシやフリーペーパー
- 5 スーパーなどの小売店や直売所でのPR
- 6 関連ホームページ
- 7 SNS（※）
- 8 Eメール（メールマガジン）
- 9 農業関連イベント
- 10 札幌の農業や農産物の情報は必要ない
- 11 その他（)

※ Facebook、Twitter、Instagram などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

F 2 あなたの年齢は(令和2年7月1日現在)

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳
4 40～49 歳 5 50～59 歳 6 60～69 歳
7 70～74 歳 8 75 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○)

- 1 会社役員 2 会社員 3 公務員 4 自営業 5 パート・アルバイト
6 主婦・主夫 7 学生 8 無職 9 その他

F 5 あなたの世帯構成は

- 1 自分1人または友人と同居など単身世帯 2 夫婦2人だけの一世代世帯
3 親と子の二世帯世帯 4 親と子と孫の三世帯世帯
5 その他

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和2年7月10日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

女性ひとりひとりの「はたらく」をサポート!

子どもの預け先が心配 プランクが心配 家事との両立が心配 時短勤務で働きたい

ココシエルジュ SAPPORO

働くことに、不安やお悩みはありませんか?
「ココシエルジュ SAPPORO」は子育て中の女性をサポートする札幌市の相談窓口です。

ご利用メニュー (すべて無料)
個別相談 / セミナー / 職場体験
出張相談 / メール相談

札幌エルプラザ 4階 (札幌市男女共同参画センター)
TEL.011-792-6700 FAX.011-792-6701
アクセス JR札幌駅北口より徒歩3分
(札幌駅北口地下歩道12番出口から直通)
利用時間 火～土曜日 / 9:00～17:00
※日・月・祝、年末年始(12.29～1.3)、エルプラザ休館日は休業
<https://coco-cierge.com> @cococierge_sapporo cococierge_sapporo

Webで簡単!
ご利用登録はコチラ

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、一部のサービスを停止する場合があります。詳しくはHPをご確認ください。